

第1期上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
評価報告書

令和3年10月

上田市

## 1 第1期上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要 ※総合戦略より抜粋

### (1) 策定趣旨

#### ① 位置付け

- ・人口減少、少子高齢化の進展を最重要課題として推進する第二次上田市総合計画を基本とし、人口減少の歯止めと人口減少を踏まえた地域社会の維持・活性化に向けた施策を深化・展開する。
- ・「まち・ひと・しごと創生法」に規定する市町村版総合戦略として位置づけ、総合戦略の着実な実行により、若者層をはじめ、あらゆる世代が「住みたい、住み続けたい」と思う上田市を目指す。

#### ② 対象期間

平成27年度から令和2年度までの6年間

### (2) 人口の現状と将来展望

#### ① 現状

##### 【総人口】

平成12年（2000年）の166,568人をピークに減少、平成27年に156,827人（国勢調査）

##### 【自然動態】

- ・平成14年（2002年）を境に死亡数が出生数を上回り、その差が徐々に拡大し、自然減が拡大
- ・平成17年（2005年）以降、女性の30～34歳が出産のピークとなり晩産化が進行
- ・平成27年（2015年）の未婚率は男性22.8%、女性10.7%で上昇傾向

##### 【社会動態】

- ・平成23年（2011年）以降、8年連続転入超過だったが、令和元年（2019年）再び転出超過へ
- ・特に若い世代（男性20歳～29歳、女性20歳～24歳）に転出超過傾向

#### ② 将来展望

- ・令和47年（2065年）の総人口

国立社会保障・人口問題研究所推計 102,355人 → 市独自推計 119,393人

- ・子育て支援策等の拡充による出生率の上昇、しごとの創出や移住・定住策による転入者の増大と転出者の抑制により、約17,000人の人口減少を抑制

### (3) 基本方針

戦略の施策構築と実行にあたっての基本的な考え方として、次の5つの基本方針を設定

- ① 豊かな暮らしと人生を支える雇用の創出
- ② 若者の結婚・子育ての夢・希望の実現
- ③ 人・地域を育てまちの活力を生む学園都市づくり
- ④ 住みよいまち・うえだの魅力アップと積極的発信
- ⑤ 安心の暮らしと健康長寿のまちづくり

#### (4) 施策展開

(3)の基本方針を踏まえ、次の4つの戦略を設定し、具体的施策を展開

	戦略名	施策体系
1	上田で働きたい戦略	① 地域経済雇用を牽引するものづくり産業の振興 ② 人材育成・雇用マッチングの拡充 ③ 若者等の多様な働き方の支援 ④ 農林業の稼ぐ力の創出 ⑤ 多様な産業の集積促進
2	結婚・子育てしたい戦略	① 結婚につながる出会いの応援 ② きめ細やかな出産・子育て支援推進 ③ 未来に繋がる特色ある教育の推進
3	訪れたい・住みたいうえだ戦略	① 地域資源を生かした知名度アップと交流促進 ② 移住相談、受入体制のワンストップ化促進 ③ 移住・二地域居住を促進する施策の推進
4	ひと・地域の輝き戦略	① 安心の医療サービスが受けられる環境づくり ② 健康寿命を延伸する施策の推進 ③ 暮らしや観光に資する交通システムの維持・拡充 ④ 地域主体のまちづくりを進める地域内分権推進 ⑤ まちとまち、人と人を繋ぐ広域連携促進

## 2 第1期上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価

### (1) 趣 旨

平成27年に策定した第1期戦略は、本年4月に「第二次上田市総合計画(後期まちづくり計画)」と一体化し、第2期戦略としてスタートしました。

この第2期戦略の一層の推進を図るため、また根拠法令である「まち・ひと・しごと創生法」を踏まえ、昨年度で終了(総合計画との一体化に当たり、期間を一年間延長)した第1期総合戦略について、評価検証を実施しました。

(2) 評価の方法

4つの戦略に設定した各種数値目標と、各戦略内のそれぞれの施策に設定した重要業績評価指標（KPI）ごとに、令和2年度末時点の実績値を踏まえて効果を検証し、次の4段階で評価しました。

評価	評価内容
S	指標等に対する実績値が大幅に超過し、取組状況としても事業効果が大きいと考えられる。
A	指標等に対する実績値が目標に達し（または実績値が未確定であるが達成の見込）、取組状況としても事業効果があったと考えられる。
B	指標等に対する実績値が目標を下回った（または実績値が未確定であるが未達成の見込み）が、取組状況としては事業効果があったと考えられる。
C	指標等に対する実績値が目標を下回り（または実績値が未確定であるが未達成の見込み）、取組内容の再検討が必要

(3) 戦略毎の評価一覧

戦略名	戦略評価	指標	当初値	目標値	最新数値	指標評価
上田で働きたい戦略	A	従業者数（人）	69,198 (H24)	72,000 (R2)	71,860 (H28)	A
		産業が元気なまちになっていると感じる市民の割合（%）	10.0 (H26)	20.0 (R7)	12.8 (R1)	B
結婚・子育てしたい戦略	B	合計特殊出生率（%）	1.54 (H25)	1.55 (R2)	1.44 (R2)	B
訪れたい・住みたいうえだ戦略	A	社会移動（転入－転出）者数（人）	282 (H26)	160 (R2)	△142 (R2)	B
ひと・地域の輝き戦略	B	健康寿命【①:男性、②:女性】（歳）	①78.92 ②83.19 (H22)	延伸 (R2)	—	—

(4) 第1期上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

4つの戦略ごとに戦略評価シートを、各戦略内のそれぞれの施策ごとに施策評価シートをそれぞれ作成し評価を実施しました。（次ページ以降）

戦略名	<b>1.上田で働きたい戦略</b>				戦略評価	<b>A</b>	
基本目標	<p>【就業機会の拡大と多様性を創出する】</p> <p>ものづくり産業のイノベーションと多様な産業の集積と成長を促進するとともに、企業と就業希望者をつなぐ人材育成や雇用マッチングを促進し、意欲ある若者や女性が活躍できる環境を整備することにより、就業機会の拡大と多様性を創出します。</p>						
<b>◆数値目標</b>							
従業者数（全業種） 出典：地域経済分析システム（RESAS）				当初値 （人）	69,198 （H24）	目標値 （人）	72,000 （R2）
実績値 （人）	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
	—	71,860	—	—	—	—	<b>A</b>
産業が元気なまちになっていると感じる市民の割合 出典：市民アンケート調査				当初値 （%）	10.0 （H26）	目標値 （%）	20.0 （R7）
実績値 （%）	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
	—	—	—	—	12.8	—	<b>B</b>
<b>◆戦略の評価（総括）</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値目標について、従業者数は平成 28 年度時点ですでに 71,860 人、当初値から 3.8%増という中、直近の数値は未集計であるが事業効果が表れているものと見込まれる。市民アンケートは令和元年度に実施、平成 26 年比で 2.8%増にとどまったことを受け、一層の取組推進が必要となっている。</li> <li>・企業の設備投資需要を受け、各種補助制度等で新製品開発や新分野開拓、生産性向上等を支援しているほか、東信州次世代産業推進協議会を通じて地域の産学官連携を促進するなどソフト面での企業支援にも力を入れてきている。また、企業誘致・留置に向けた新たな工業団地造成にも取り組むなど、雇用の受け皿となる市内の産業振興を多面的・積極的に進めてきている。</li> <li>・一方で、地方都市での全国的な傾向でもあるが、UIJ ターン人材や多様な働き方ニーズを持つ人材の育成、また、企業とのマッチングが急務となっている。そこで上田市では、UIJ ターン希望者と地元企業とのマッチング事業や、若年求職者の地元企業就職に向けた伴走支援等で一定の成果を上げてきており、引き続き当該分野の取り組みに力を入れていく。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症や一部地域での政情不安等、国際経済が不安定要素を抱える中、上田市の主要産業である製造業に加え、ICT 産業や農業など多様な産業の誘致と育成にも力を入れていくことが重要であり、起業・創業のハードルを下げるための各種支援にも取り組んでいる。</li> <li>・農林業の振興については、6 次産業化の推進や農業の担い手確保の取組、森林資源の有効活用を図る取組などを中心に進め、一定の成果を上げているものの、新規就農者の確保等について引き続き事業推進が必要となっている。</li> <li>・上記のとおり進行中の取組や継続的な課題を認識しつつ、各施策や KPI の状況も概ね良好な点を踏まえ、総合的な戦略評価を A とする。</li> </ul>							

施策名	<b>1-① 地域経済雇用を牽引するものづくり産業の振興</b>																						
基本方向	産学官金の連携や広域連携を促進するとともに、積極的に新分野や自社ブランド確立、販路開拓に取り組む企業を支援し、地域のものづくり産業の競争力を高め、雇用の維持・創出を図ります。																						
施策の進捗状況	製造品出荷額等に対する製造業の粗付加価値額の割合 出典：地域経済分析システム(RESAS)、県工業統計				当初値 (%)	40.1 (H25)	目標値 (%)	43.0 (R2)															
	実績値 (%)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価															
		40.8	41.3	41.7	40.4	—	—	<b>B</b>															
	製造品出荷額等 出典：工業統計、経済センサス				当初値 (億円)	—	目標値 (億円)	5,300 (R2)															
	実績値 (億円)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価															
		4,634	4,753	5,267	5,572	—	—	<b>A</b>															
施策評価	<b>A</b>	評価根拠/ 現状分析	地域経済を牽引するものづくり産業の振興のため、展示会やマッチング、コーディネーター伴走による支援を積極的に実施しているほか、新分野への進出支援事業や信州上田ブランドの向上を図る支援事業の活用も増えており、新規事業の展開も図る中、市内企業の業績の拡大や雇用増加が図られていることから、A評価とする。																				
今後の取組方針	国の各種施策と合わせ、市内企業における積極的な設備投資や企業マッチング、受発注拡大に向けたネットワーク強化等、市内企業の活性化を促進する。 成功事例をPRすることで、信州上田ブランドの新たな商品開発を促す。																						
主な取組①	<p>【事業名】東信州広域連携事業推進</p> <p>【事業概要】 東信州 10 市町村の広域連携により、次世代産業創出に向けた開発プロジェクト及び人材確保・育成、地域内連携促進や広報宣伝支援のほか、公的資金申請支援等、域内企業支援を幅広く推進</p> <p>【実施事業と年度別実績】</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">産産・産学連携支援事業</td> </tr> <tr> <td>マッチング会</td> <td>H28:2回、H29:4回、H30:6回、R1:6回、R2:4回</td> </tr> <tr> <td>技術講演会</td> <td>H28:2回、H29:2回、H30:9回、R1:9回、R2:9回</td> </tr> <tr> <td>先進企業見学会</td> <td>H28:2回、H29:2回、H30:2回、R1:2回、R2:1回</td> </tr> <tr> <td>技術展示会</td> <td>H28:2回、H29:2回、H30:4回、R1:3回、R2:0回</td> </tr> <tr> <td>人材確保事業</td> <td>H28:5回、H29:6回、H30:5回、R1:8回、R2:9回</td> </tr> <tr> <td>人材育成事業</td> <td>H28:8回、H29:26回、H30:26回、R1:20回、R2:4回</td> </tr> <tr> <td>トップセミナー</td> <td>H28:2回、H29:2回、H30:2回、R1:2回、R2:1回</td> </tr> </table>							産産・産学連携支援事業		マッチング会	H28:2回、H29:4回、H30:6回、R1:6回、R2:4回	技術講演会	H28:2回、H29:2回、H30:9回、R1:9回、R2:9回	先進企業見学会	H28:2回、H29:2回、H30:2回、R1:2回、R2:1回	技術展示会	H28:2回、H29:2回、H30:4回、R1:3回、R2:0回	人材確保事業	H28:5回、H29:6回、H30:5回、R1:8回、R2:9回	人材育成事業	H28:8回、H29:26回、H30:26回、R1:20回、R2:4回	トップセミナー	H28:2回、H29:2回、H30:2回、R1:2回、R2:1回
産産・産学連携支援事業																							
マッチング会	H28:2回、H29:4回、H30:6回、R1:6回、R2:4回																						
技術講演会	H28:2回、H29:2回、H30:9回、R1:9回、R2:9回																						
先進企業見学会	H28:2回、H29:2回、H30:2回、R1:2回、R2:1回																						
技術展示会	H28:2回、H29:2回、H30:4回、R1:3回、R2:0回																						
人材確保事業	H28:5回、H29:6回、H30:5回、R1:8回、R2:9回																						
人材育成事業	H28:8回、H29:26回、H30:26回、R1:20回、R2:4回																						
トップセミナー	H28:2回、H29:2回、H30:2回、R1:2回、R2:1回																						

<p>主な取組②</p>	<p>【事業名】 基幹産業推進体制事業</p> <p>【事業概要】 製造業、非製造業（サービス業）を問わず、市内企業の受発注拡大、販路拡大、業務改善及び生産性向上につながるきめ細かな支援を推進</p> <p>【実施事業と年度別実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内製造業の域内受発注体制確立と受発注拡大を図るため、マッチングや展示会等への共同出展等を支援</li> </ul> <table border="1" data-bbox="336 465 1455 613"> <tr> <td>共同出展</td> <td>H29:6回、H30:6回、R1:6回、R2:0回</td> </tr> <tr> <td>オンライン個別商談会</td> <td>R2:19社（35商談）</td> </tr> <tr> <td>域内外受発注マッチング等</td> <td>H29:128件、H30:94件、R1:98件、R2:120件</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内製造業の販路開拓拡大を支援するため、コーディネーターによる伴走支援、専門家派遣による相談及び首都圏等で開催される展示会出展を支援</li> </ul> <table border="1" data-bbox="336 712 1455 1003"> <tr> <td>延べ企業訪問数</td> <td>H28:347件、H29:382件、H30:464件、 R1:478件、R2:431件</td> </tr> <tr> <td>専門家派遣企業数</td> <td>H28:3社7回、H29:9社21回、H30:8社21回、 R1:12社39回、R2:12社36回</td> </tr> <tr> <td>共同出展</td> <td>H28:2回、H29:2回、H30:2回、R1:2回、R2:2回</td> </tr> <tr> <td>ものづくり補助金申請支援</td> <td>H29:10件、H30:11件、R1:9回、R2:10件</td> </tr> </table>	共同出展	H29:6回、H30:6回、R1:6回、R2:0回	オンライン個別商談会	R2:19社（35商談）	域内外受発注マッチング等	H29:128件、H30:94件、R1:98件、R2:120件	延べ企業訪問数	H28:347件、H29:382件、H30:464件、 R1:478件、R2:431件	専門家派遣企業数	H28:3社7回、H29:9社21回、H30:8社21回、 R1:12社39回、R2:12社36回	共同出展	H28:2回、H29:2回、H30:2回、R1:2回、R2:2回	ものづくり補助金申請支援	H29:10件、H30:11件、R1:9回、R2:10件
共同出展	H29:6回、H30:6回、R1:6回、R2:0回														
オンライン個別商談会	R2:19社（35商談）														
域内外受発注マッチング等	H29:128件、H30:94件、R1:98件、R2:120件														
延べ企業訪問数	H28:347件、H29:382件、H30:464件、 R1:478件、R2:431件														
専門家派遣企業数	H28:3社7回、H29:9社21回、H30:8社21回、 R1:12社39回、R2:12社36回														
共同出展	H28:2回、H29:2回、H30:2回、R1:2回、R2:2回														
ものづくり補助金申請支援	H29:10件、H30:11件、R1:9回、R2:10件														
<p>主な取組③</p>	<p>【事業名】 産金官連携雇用創出事業</p> <p>【事業概要】 成長産業への進出や新分野への進出する事業を、金融機関の融資との協調により支援し、地域産業の振興を図る。</p> <p>【年度別実績】</p> <table border="1" data-bbox="352 1279 1034 1323"> <tr> <td>H28:3件、H29:3件、H30:4件、R1:5件、R2:9件</td> </tr> </table>	H28:3件、H29:3件、H30:4件、R1:5件、R2:9件													
H28:3件、H29:3件、H30:4件、R1:5件、R2:9件															
<p>主な取組④</p>	<p>【事業名】 中小企業者等販路拡大事業補助金</p> <p>【事業概要】 地域産業の発展を図るため、市内の中小企業者等が行う販路拡大を目的とした展示会への出展経費に対し、補助金を交付</p> <p>【年度別実績】</p> <table border="1" data-bbox="352 1601 1305 1646"> <tr> <td>H27:16件、H28:28件、H29:47件、H30:49件、R1:45件、R2:14件</td> </tr> </table>	H27:16件、H28:28件、H29:47件、H30:49件、R1:45件、R2:14件													
H27:16件、H28:28件、H29:47件、H30:49件、R1:45件、R2:14件															
<p>主な取組⑤</p>	<p>【事業名】 ブランディング支援事業</p> <p>【事業概要】 地域資源等を有効活用した商品開発・改良を支援することで、信州上田ブランドの向上を図り、地域産業の発展を促進</p> <p>【年度別実績】</p> <table border="1" data-bbox="352 1906 916 1951"> <tr> <td>H29:5件、H30:7件、R1:4件、R2:8件</td> </tr> </table>	H29:5件、H30:7件、R1:4件、R2:8件													
H29:5件、H30:7件、R1:4件、R2:8件															

<p>主な取組⑥</p>	<p>【事業名】 事業承継・M&amp;A 整備事業 (R2～)</p> <p>【事業概要】 民間企業や市内商工団体と連携し、民間のノウハウを活用することで事業承継や M&amp;A を円滑に行えるよう支援を実施</p> <p>【事業実績】 R2:相談事業所 3 件、相談等 18 回</p>
<p>主な取組⑦</p>	<p>【事業名】 中小企業 IoT 等導入支援事業 (R2～)</p> <p>【事業概要】 AI・IoT 等の導入促進を図るため、セミナーの開催や助成制度の設置、モデルケース検討のための研究会を開催</p> <p>【事業実績】 R2:オンラインセミナー2 回、研究会 4 回</p>

施策名	<b>1-② 人材育成・雇用マッチングの拡充</b>																		
基本方向	関係機関等と連携した人材育成やUIJ ターンの取組みを強化するとともに、大学等と連携したキャリア教育を推進し、若年層を中心に求職者の地元企業への就業を促進します。																		
雇用促進部局 就業支援課	高校卒業就業者に占める市内就職者の割合 (ハローワーク上田調査)			当初値 (%)	60.3 (H25)	目標値 (%)	60.0 (R2)												
	実績値 (%)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価											
		58.6	57.6	50.6	53.5	56.5	51.2	<b>B</b>											
	市内4大学等卒業者のうち市内就職者の割合			当初値 (%)	-	目標値 (%)	17.75 (R2)												
	実績値 (%)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価											
	-	-	-	-	17.70	17.90	<b>A</b>												
施策評価	<b>A</b>	評価根拠/ 現状分析		<p>UIJ ターン就職支援事業において、ノウハウを有する民間の職業紹介事業所への委託により、移住希望者と地域企業とのマッチングを促進し、行政支援による移住者数の増加につながっている。令和2年度は新型コロナの影響により実施できなかったものの、令和元年度までは市内関係部局の連携により成果を上げることができた。</p> <p>地域若者等定住就職支援事業についても、正規雇用を望みながらも実現できていない若年求職者等に対して、基本的な人材育成研修や職場研修を通じた雇用マッチングの実施により、成果が出ていることから、A評価とする。</p>															
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用促進部局と移住推進部局の連携を密に取りながら、当該事業の認知度を向上させるとともに、上田地域での就業希望者と地元企業のマッチングを積極的に推進する。</li> <li>新型コロナの影響で、地方での就業や移住が見直されつつあるため、引き続き関係機関と情報共有を図り、オンラインを活用した雇用マッチング等を効果的に実施する。</li> </ul>																		
主な取組①	<p>【事業名】UIJ ターン就職支援事業</p> <p>【事業概要】 UIJ ターン希望者の就業相談に対し、民間やハローワークの求人等、地域の総合的な就職情報を一体的に提供するとともに、希望者には「企業見学」として、地域企業での職場見学を通じて雇用マッチングの機会を提供し、上田市への移住を誘導</p> <p>【年度別実績】※R2は新型コロナ感染症の影響で事業実施を見合わせ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>相談件数</th> <th>登録者数</th> <th>マッチング数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>450件</td> <td>106名</td> <td>31名</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>525件</td> <td>92名</td> <td>20名</td> </tr> </tbody> </table>							年度	相談件数	登録者数	マッチング数	H30	450件	106名	31名	R1	525件	92名	20名
年度	相談件数	登録者数	マッチング数																
H30	450件	106名	31名																
R1	525件	92名	20名																
主な取組②	<p>【事業名】地域若者等定住就職支援事業</p> <p>【事業概要】 未就職の地域若年求職者等への基礎研修(OFF-JT)や職場体験研修(OJT)により、就労意識の醸成やスキルアップ、研修を通じた雇用マッチングを図り、地域での定住を促進</p> <p>【事業実績】 R1:研修生20名、正規雇用者14名、R2:研修生20名、正規雇用者15名</p>																		

施策名	<b>1-③ 若者等の多様な働き方の支援</b>							
基本方向	新たな地域活性化の担い手として、意欲ある若者、女性、アクティブシニア層の起業や多様な働き方を応援する環境を整えます。							
子育て女性社会進出促進支援事業	若者(39歳以下)による創業件数				当初値 (件)	22 (H26)	目標値 (件)	30 (R2)
	実績値 (件)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
		11	19	21	27	22	20	<b>B</b>
	女性の創業件数				当初値 (件)	5 (H26)	目標値 (件)	20 (R2)
	実績値 (件)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
		10	16	17	16	14	14	<b>B</b>
創業比率 出典：地域経済分析システム(RESAS)				当初値 (%)	1.33 (H21-24)	目標値 (%)	4.50 (H30-R2)	
実績値 (%)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価	
	4.32	4.32	—	—	—	—	<b>A</b>	
施策評価	<b>A</b>	評価根拠/ 現状分析	働き方に制約がある子育て女性の雇用拡大と安定的な収入の確保を支援できたほか、上田市創業支援プラットフォームとの連携を密にすることで、開業に向けた継続的な支援も図られたことから、A評価とする。					
今後の取組方針	子育て女性の更なる雇用拡大や仕事の創出のためには、パートナー企業の獲得活動を継続していく必要がある。また、創業に向けた連携については、金融機関や商工会等と支援状況や課題を共有しながら進めていく必要がある。							
主な取組①	【事業名】子育て女性社会進出促進支援事業							
	【事業概要】 子育て中の女性を対象に、スキルアップや安定的な収入の改善を支援							
	【事業内容と年度別実績】							
	年度	内容			実績等			
	H27	簿記等スキルアップ講座			13講座 45回、延べ467人			
H28	ビジネスマナー研修等			11講座 54回、延べ657人				
H29	継続的な専門スキル育成			パート雇用36人、首都圏とのパートナー企業1社				

<p>主な取組②</p>	<p>【事業名】 上田市創業支援プラットフォーム事業</p> <p>【事業概要】 上田商工会議所、（一財）浅間リサーチエクステンションセンター等において創業セミナー、女性起業家フォーラム等を開催し創業を支援</p> <p>【年度別実施内容】</p> <table border="1" data-bbox="336 383 1449 483"> <tr> <td data-bbox="336 383 491 432">H27</td> <td colspan="3" data-bbox="491 383 1449 432">創業相談、創業スクール、女性起業家フォーラムなど</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 432 491 483">H28～R2</td> <td colspan="3" data-bbox="491 432 1449 483">創業相談、創業スクール、創業セミナーなど</td> </tr> </table>				H27	創業相談、創業スクール、女性起業家フォーラムなど			H28～R2	創業相談、創業スクール、創業セミナーなど																		
H27	創業相談、創業スクール、女性起業家フォーラムなど																											
H28～R2	創業相談、創業スクール、創業セミナーなど																											
<p>主な取組③</p>	<p>【事業名】 創業促進支援事業</p> <p>【事業概要】 創業 10 年未満の事業者を対象に、家賃・改修費の補助、クラウドファンディング支援を実施</p> <p>【年度別事業内容と実績】</p> <table border="1" data-bbox="336 775 1449 1070"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 775 448 824">年度</th> <th data-bbox="448 775 746 824">家賃支援</th> <th data-bbox="746 775 1038 824">改修費支援</th> <th data-bbox="1038 775 1449 824">クラウドファンディング支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 824 448 873">H28</td> <td data-bbox="448 824 746 873">8 件</td> <td data-bbox="746 824 1038 873">4 件</td> <td data-bbox="1038 824 1449 873">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 873 448 922">H29</td> <td data-bbox="448 873 746 922">11 件</td> <td data-bbox="746 873 1038 922">1 件</td> <td data-bbox="1038 873 1449 922">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 922 448 972">H30</td> <td data-bbox="448 922 746 972">9 件</td> <td data-bbox="746 922 1038 972">0 件</td> <td data-bbox="1038 922 1449 972">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 972 448 1021">R1</td> <td data-bbox="448 972 746 1021">6 件</td> <td data-bbox="746 972 1038 1021">1 件</td> <td data-bbox="1038 972 1449 1021">1 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1021 448 1070">R2</td> <td data-bbox="448 1021 746 1070">6 件</td> <td data-bbox="746 1021 1038 1070">3 件</td> <td data-bbox="1038 1021 1449 1070">1 件</td> </tr> </tbody> </table>				年度	家賃支援	改修費支援	クラウドファンディング支援	H28	8 件	4 件	—	H29	11 件	1 件	—	H30	9 件	0 件	—	R1	6 件	1 件	1 件	R2	6 件	3 件	1 件
年度	家賃支援	改修費支援	クラウドファンディング支援																									
H28	8 件	4 件	—																									
H29	11 件	1 件	—																									
H30	9 件	0 件	—																									
R1	6 件	1 件	1 件																									
R2	6 件	3 件	1 件																									

施策名	<b>1-④ 農林業の稼ぐ力の創出</b>						
基本方向	安定的な生産活動を促進する環境づくりを進めるとともに、6次産業化や産地化推進など新たな付加価値を生む農林業の振興を図ります。						
指標 農業 生産 計画 評価 指標 カテゴリー	農業産出額 出典：地域経済分析システム（RESAS）			当初値 （万円）	813,000 （H26）	目標値 （万円）	829,000 （R2）
	実績値 （万円）	H27 844,000	H28 828,000	H29 828,000	H30 880,000	H31 -	R2 -
	6次産業化計画（総合事業計画）の認定事業者数			当初値 （件）	3 （H26）	目標値 （件）	3 （R2）
	実績値 （件）	H27 3	H28 3	H29 3	H30 3	H31 3	R2 3
	市外からの新規就農者数			当初値 （件）	-	目標値 （件）	6 （R2）
	実績値 （件）	H27 -	H28 -	H29 -	H30 5	H31 5	R2 2
施策評価	<b>B</b>	評価根拠/ 現状分析	<p>事業者が6次産業に関わる事業を行う際に国等の助成制度を活用しやすくするため、平成29年度に「上田市6次産業化等に関する戦略」を策定し、市内では1次・2次・3次事業者が協力・連携するネットワーク型6次産業化の取組を推進した。</p> <p>安定的な生産活動を促進するためには、担い手農家の減少に歯止めをかける必要があるため、異業種企業を含め新たな担い手を確保する取組みについて、JAなどの関係機関や近隣市町村と連携する体制づくりについて協議を進めている。</p> <p>しかしながら、市外からの新規就農者数については十分な伸びを示すまでには至っておらず、引き続き努力を要することから、B評価とする。</p>				
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>農林畜水産物の販売戦略や農業の6次産業化を推進する中で、行政の持つ公益性、信用性、情報力、金融機関等の各機関とのつながり等を活かし、生産者やJA等の関係団体とともに、当地域の農産物のブランド化に向けた取組を進める。</li> <li>県やJA等の関係機関や近隣市町村と連携してUIターン就農を含めた新規就農者を確保・育成・定着できるようきめ細かな支援体制を構築する。</li> <li>東信地区で初の木質バイオマス発電所が稼働したことから、地域産の木質バイオマスエネルギーの搬入及び更なる消費について調査研究を行う。</li> </ul>						

<p>主な取組①</p>	<p>【事業名】6次産業化推進事業</p> <p>【事業概要】</p> <p>ワイン用ブドウの栽培適地である千曲川沿いの特徴を活かし、千曲川ワインバレー特区連絡協議会と連携し、地域ワイン産業のPR、上田市独自品種「ヤマブドウ系ワイン用ぶどう」の栽培研究、苗木及び資材購入補助による新規就農者拡大に向けた取組を行い、ワインによる地域ブランドの創出を図る。</p> <p>【年度別実績（件数と補助額）】</p> <table border="1" data-bbox="357 461 1449 607"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4件</td> <td>6件</td> <td>2件</td> <td>4件</td> <td>2件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>1,670千円</td> <td>2,354千円</td> <td>1,670千円</td> <td>421千円</td> <td>114千円</td> <td>1,261千円</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	H30	R1	R2	4件	6件	2件	4件	2件	5件	1,670千円	2,354千円	1,670千円	421千円	114千円	1,261千円			
H27	H28	H29	H30	R1	R2																	
4件	6件	2件	4件	2件	5件																	
1,670千円	2,354千円	1,670千円	421千円	114千円	1,261千円																	
<p>主な取組②</p>	<p>【事業名】人・農地プランに基づく市内6地区での話合</p> <p>【事業概要】</p> <p>市内6地区（上田東・西部・塩田・丸子・真田・武石地区）で各地域の中心となる担い手や地域での将来の農地利用のあり方等を地域で話し合い、人・農地プランで示し、地域で共有する（プランは毎年見直しを実施）。</p> <p>【地区懇談会等での話合の回数】</p> <table border="1" data-bbox="379 925 1334 969"> <tr> <td>H27:49回、H28:36回、H29:40回、H30:25回、R1:33回、R2:28回</td> </tr> </table>	H27:49回、H28:36回、H29:40回、H30:25回、R1:33回、R2:28回																				
H27:49回、H28:36回、H29:40回、H30:25回、R1:33回、R2:28回																						
<p>主な取組③</p>	<p>【事業名】高性能林業機械導入補助事業</p> <p>【事業概要】</p> <p>信州上小森林組合が要件を満たす林業機械を導入する際に補助金を交付</p> <p>【年度別実績（機械の種類と補助額）】</p> <table border="1" data-bbox="373 1189 1211 1435"> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>ハーベスタ・フォワーダ 各1台</td> <td>2,624千円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>フォワーダ 2台</td> <td>1,944千円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>ハーベスタ 1台</td> <td>1,543千円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>ハーベスタ 1台</td> <td>1,629千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>フォワーダ 1台</td> <td>1,168千円</td> </tr> </tbody> </table>	H27	ハーベスタ・フォワーダ 各1台	2,624千円	H28	フォワーダ 2台	1,944千円	H29	ハーベスタ 1台	1,543千円	R1	ハーベスタ 1台	1,629千円	R2	フォワーダ 1台	1,168千円						
H27	ハーベスタ・フォワーダ 各1台	2,624千円																				
H28	フォワーダ 2台	1,944千円																				
H29	ハーベスタ 1台	1,543千円																				
R1	ハーベスタ 1台	1,629千円																				
R2	フォワーダ 1台	1,168千円																				
<p>主な取組④</p>	<p>【事業名】森のエネルギー推進事業</p> <p>【事業概要】</p> <p>森林資源の有効活用を図るため、薪ストーブ等を導入する個人に対し補助金を交付</p> <p>【補助実績】</p> <table border="1" data-bbox="357 1644 1441 1794"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ペレットストーブ購入補助</td> <td>5台</td> <td>3台</td> <td>3台</td> <td>3台</td> <td>3台</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>薪ストーブ購入補助</td> <td>17台</td> <td>19台</td> <td>21台</td> <td>21台</td> <td>12台</td> <td>17台</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	R2	ペレットストーブ購入補助	5台	3台	3台	3台	3台	3台	薪ストーブ購入補助	17台	19台	21台	21台	12台	17台
	H27	H28	H29	H30	R1	R2																
ペレットストーブ購入補助	5台	3台	3台	3台	3台	3台																
薪ストーブ購入補助	17台	19台	21台	21台	12台	17台																
<p>主な取組⑤</p>	<p>【事業名】松くい虫枯損木利活用事業</p> <p>【事業概要等】</p> <p>R2.7、東御市羽毛山に木質バイオマス発電所が稼働、燃料として市内の枯損木をウッドチップ化して提供（150t）</p>																					

施策名	<b>1-⑤ 多様な産業の集積促進</b>																														
基本方向	企業が進出する際のインセンティブとなる施策を拡充するとともに、産業界や近隣市町村との連携による企業誘致を推進します。																														
K O T	工場等用地取得及び設置事業助成企業数				当初値 (件)	-	目標値 (件)	5 (R2)																							
	実績値 (件)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価																							
		-	2	1	3	5	4	<b>A</b>																							
施策評価	<b>A</b>	評価根拠/ 現状分析		企業の受け皿となる産業用地等は、丸子地域の箱置工業団地の造成に着手し企業誘致の推進を図っている。加えて、企業訪問でのヒアリングを通じ、助成制度の周知などきめ細かな対応を行うことで、制度の活用や設備投資の推進を図ることができた。また各種展示会へ出展し、域内の企業情報等を発信するとともに、首都圏の産業支援機関等とのネットワークを幅広く構築できたことなどを踏まえ、KPI の状況も加味し A 評価とする。																											
今後の取組方針	引き続き、金融機関、産業界及び近隣市町村との連携による企業誘致を推進するため、首都圏等で開催する企業誘致関連の展示会等で、域内の魅力を広く情報発信するとともに、民有地への設備投資に対する助成制度の充実を図る。																														
主な取組①	<p>【事業名】民間用地、空き事務所情報一元化による企業誘致</p> <p>【事業概要】</p> <p>宅建協会、金融機関からの空き用地・事務所等情報を一元化し、県や企業からの照会に対して迅速な対応を実施（宅建協会からの情報を整理・ストックし、情報提供を実施）</p>																														
主な取組②	<p>【事業名】定住自立圏連携事業</p> <p>【事業概要】</p> <p>定住自立圏域の空き地・空き事務所情報の一元化等情報共有と、圏域共同による企業誘致を推進するため、各種展示会出展や人材確保・育成事業等を推進</p> <p>【事業内容と年度別実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示会共同出展</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>人材確保事業</td> <td>5回</td> <td>6回</td> <td>5回</td> <td>8回</td> <td>9回</td> </tr> <tr> <td>人材育成事業</td> <td>8回</td> <td>26回</td> <td>26回</td> <td>20回</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table>								H28	H29	H30	R1	R2	展示会共同出展	2回	2回	2回	2回	2回	人材確保事業	5回	6回	5回	8回	9回	人材育成事業	8回	26回	26回	20回	4回
	H28	H29	H30	R1	R2																										
展示会共同出展	2回	2回	2回	2回	2回																										
人材確保事業	5回	6回	5回	8回	9回																										
人材育成事業	8回	26回	26回	20回	4回																										
主な取組③	<p>【事業名】金融機関や産業界と連携した人脈や、ネットワークを生かした企業誘致の推進</p> <p>【事業概要等】</p> <p>県内・首都圏等金融機関及び他支援機関等と連携した事業所訪問を積極的に実施（長野県東京事務所に職員1名派遣、関東経済産業局に職員1名派遣、企業訪問420件）</p>																														
主な取組④	<p>【事業名】民有地への設備投資に対する市助成制度の創設</p> <p>【事業概要】</p> <p>民有地を取得し、工場等を設置する際の経費に対して助成を実施</p> <p>【年度別実績（助成件数）】</p> <p>H28:2件、H29:1件、H30:3件、R1:5件、R2:4件</p>																														

戦略名	<b>2 結婚・子育てしたい戦略</b>				戦略評価	<b>B</b>	
基本目標	【人口の自然減に歯止めをかける】 結婚、出産、子育ての切れ目ない支援と特色ある教育に取り組むとともに、地域ぐるみで子どもを育む環境を整え、子どもを産み育てたいと思われるまちづくりにより、人口の自然減に歯止めをかけます。						
<b>◆数値目標</b>							
合計特殊出生率				当初値 (%)	1.54 (H25)	目標値 (%)	1.55 (R2)
実績値 (%)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
	1.60	1.45	1.47	1.52	1.42	1.44	<b>B</b>
<b>◆戦略の評価（総括）</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値目標の合計特殊出生率については、平成 28 年度から 30 年度まで増加傾向にあったものの、令和元年度には前年比 0.1 ポイントの減少となった。合計特殊出生率は、出産年齢の変化やその年の女性人口、出生数の増減、また国全体の社会情勢によっても推計値が変動するため評価が難しい。</li> <li>・結婚支援について、全国的にも生涯未婚率が上昇、晩婚化傾向であるが、平成 29 年度に上田市が市民及び企業に実施した「結婚支援事業アンケート調査」結果では、未婚者の約 7 割超は結婚をしたいと考えている。こうしたことから、婚活イベント等の積極的な実施を図る中、各イベントで定員を大幅に上回る応募があるほか、団体が取り扱う結婚希望登録者数が増加傾向にあるなど機運の醸成が見られている。課題としては、こうした事業推進にも関わらず実際の成婚者数増に結び付かない点であり、引続きの取組が必要となっている。</li> <li>・子育て支援については、妊娠期から子育て期にわたる総合的相談の拠点となる「子育て世代包括支援センター」、子育て親子が自由に遊び、保護者の相互交流も図れる「子育て支援センター」や「子育て広場」の設置により、情報共有と新たな課題への対応を図ってきているほか、令和 2 年度には、専門職を配置し、児童虐待等の相談にも対応する「子ども家庭総合支援拠点」も整備するなど、多面的な対応を図っている。</li> <li>・子育てと仕事との両立のためには、保護者の就労形態や多様なニーズに対応した乳幼児保育や延長・休日保育、一時預かり保育など保育サービスの充実を図るとともに、児童館・児童センター、児童クラブ等の放課後児童対策施設においてニーズに応じた運営を継続してきている。</li> <li>・安全・安心な妊娠・出産体制の構築については、市立産婦人科病院において信州上田医療センターとの連携強化や医療スタッフの確保及び研修等による医療技術の向上により一定の成果を上げる一方で、今後継続的かつ安定的な医師の確保は難しい面もあり、また分娩件数の増加が見込めず、病院のあり方について審議会へ諮問し検討を進めた。</li> <li>・地域の教育力を強化する取組としては、サントミュージゼを拠点とした各種芸術、文化交流事業を継続したほか、小学校においては、ICT 機器を導入し、児童生徒の学力向上に努めている。</li> <li>・長野大学の公立大学法人化によって市内 5 大学等との協働が進み、市内の賑わいの創出と交流人口の拡大が図られた。</li> <li>・結婚支援、子育て支援、特色ある教育施策など人口の自然減に歯止めをかけるべく、各種施策に着実に取り組んでいるが、短期的に結果が得られるものでないことから、引き続き、市民ニーズの的確な把握と効果的な事業継続を図ることとし、総合的な戦略評価は B とする。</li> </ul>							

施策名	<b>2-① 結婚につながる出会いの応援</b>							
基本方向	結婚を希望する若者や保護者へのサポート体制を構築するとともに、結婚を希望する若者を増やす取組を推進します。							
重要業績評価指標 KPI)	団体が取り扱う成婚者数				当初値 (組)	6 (H26)	目標値 (組)	13 (R2)
	実績値 (組)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
		10	12	5	10	12	5	<b>B</b>
	結婚希望者登録者数(累計)				当初値 (人)	1,100 (H26)	目標値 (人)	4,500 (R2)
	実績値 (人)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
		756	1,552	2,391	3,111	3,735	4,337	<b>B</b>
施策評価	<b>B</b>	評価根拠 /現状分析	市及び実行委員会主催の婚活イベント等には、定員を大幅に上回る応募があるなど機運の醸成に一定程度の成果が見られた。団体が取り扱う結婚希望者登録者数は増加傾向にある一方、成婚者数は伸び悩んでいることから、B評価とする。					
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き結婚希望者同士が集う場づくりなど、市が主体となって結婚機運の醸成に努めるとともに、何らかの理由で結婚に不安等を感じる方々の意見などを聴取しつつ、不安を取り除くための新たな結婚支援策の検討を進める。</li> <li>近隣市町村も同様の課題に直面しており、定住自立圏等で協働する事業の検討を進める。</li> </ul>							
主な取組①	【事業名】 上田市縁結びプロジェクト							
	【事業概要】							
	市と上田市結婚支援ネットワーク実行委員会(事務局:上田市)が主体となり、未婚者向けセミナーや交流会、未婚者の親向けセミナー、相談員のスキルアップセミナーを実施							
	【事業内容と年度別実績】							
		未婚者向けセミナー・交流会					親向け セミナー	相談員 セミナー
	H27	全2回	男性37人・女性30人	カップリング3組		32人	16人	
	H28	全3回	男性42人・女性17人	カップリング3組		14人	14人	
	H29	全6回	男性151人・女性103人	カップリング12組		28人	14人	
H30	全1回	男性28人・女性27人	カップリング8組		37人	6人		
R1	全8回	男性76人・女性56人	カップリング9組		25人	16人		
R2	全9回	男性71人・女性50人	カップリング7組		17人	10人		

<p>主な取組②</p>	<p>【事業名】企業版縁結びプロジェクト</p> <p>【事業概要】</p> <p>市と上田市結婚支援ネットワーク実行委員会（事務局:上田市）が主体となり、企業の若者の人材育成や企業における若者の結婚に向けた意識の醸成を図るために、企業担当者向けセミナーを実施</p> <p>【年度別実績】</p> <table border="1" data-bbox="384 416 796 461"> <tr> <td>H27:1回 18人、H28:1回 8人</td> </tr> </table>	H27:1回 18人、H28:1回 8人									
H27:1回 18人、H28:1回 8人											
<p>主な取組③</p>	<p>【事業名】上田市結婚支援事業</p> <p>【事業概要等】</p> <p>人口減少問題の対策として取り組む結婚支援策について、企業及び市民双方の要望を把握し今後の結婚支援策の検討材料とするため H29 年度にアンケートを実施</p> <p>市内事業所 200 社、市内個人男女各 500 人、合計 1,000 人、有効回答 88 事業所 (44%)、個人 300 人 (30%)</p>										
<p>主な取組④</p>	<p>【事業名】結婚新生活支援事業</p> <p>【事業概要】</p> <p>結婚を機に市内に新居を構える世帯に対し、新居への引越し費用や家賃等に係る費用の一部を支援</p> <p>【年度別実績（支援件数と支援額計）】</p> <table border="1" data-bbox="357 1016 1426 1115"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10件、18万円</td> <td>9件、24万円</td> <td>10件、24万円</td> <td>14件、30万円</td> <td>16件、30万円</td> </tr> </tbody> </table>	H28	H29	H30	R1	R2	10件、18万円	9件、24万円	10件、24万円	14件、30万円	16件、30万円
H28	H29	H30	R1	R2							
10件、18万円	9件、24万円	10件、24万円	14件、30万円	16件、30万円							

施策名	<b>2-② きめ細やかな出産・子育て支援推進</b>																										
基本方向	妊娠期からのきめ細やかな子育て支援や地域ぐるみの子育て充実に取り組み、安心して子どもを産み育てられる環境を整えます。																										
K P I	一時預かり保育実施園箇所数				当初値 (園)	17 (H25)	目標値 (園)	21 (R2)																			
	実績値 (園)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価																			
		17	19	20	20	21	20	<b>A</b>																			
施策評価	<b>A</b>	評価根拠/ 現状分析		「主な取組」記載の内容のほかにも、全出生児（未熟児を含めた乳児）を対象とした訪問相談、保健師や助産師の訪問相談やヘルパー等の家事支援を行う養育支援訪問事業、母親への傾聴を中心とした見守り幸せ支援事業、子ども（中学3年生まで）の医療費無料化など、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない様々な支援を図っており、KPIの実績も踏まえA評価とする。																							
今後の 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待の未然防止と早期発見・早期対応により、子どもの人権の尊重と保護を促進するとともに、社会的養護が必要な子どもに対しては地域社会全体で支えていく。</li> <li>・子育てに不安や悩みを抱えた保護者や子育て家庭が、孤立することがないよう、相談・情報提供の充実を図る取組を進める。</li> <li>・幼児教育・保育のニーズに応え、量と質の確保に努めるとともに、「第2次上田市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、一時預かり保育実施園の拡充や、延長保育、休日保育など保護者ニーズに応える保育サービスの充実を図っていく。</li> <li>・幼児教育・保育の無償化の取組に加え、多子世帯などに対する経済的支援など、更なる軽減策を検討していく。</li> </ul>																										
主な取組①	<p>【事業名】子育て世代包括支援センター</p> <p>【事業概要】</p> <p>子育て支援コーディネーターと母子保健コーディネーターが連携し、子育て世代包括支援センターとして機能的な運用により妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を行う。月1回開催する定例会議では子育て・子育て支援課、市立産婦人科病院、保育課など関係課の職員も参加し、情報の共有や課題の整理、検討を行い、連携の強化を図っている。</p>																										
主な取組②	<p>【事業名】信州上田医療センターとの連携</p> <p>【事業概要】</p> <p>医療センターへの患者紹介（ハイリスク妊婦等）、母体搬送、高度医療機器検査委託、小児回診医師派遣等の医療連携により安全で安心な医療体制を構築する。</p> <p>【事業内容と年度別実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハイリスク妊婦等紹介</td> <td>97件</td> <td>52件</td> <td>92件</td> </tr> <tr> <td>母体搬送</td> <td>17件</td> <td>10件</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>検査依頼</td> <td>138件</td> <td>73件</td> <td>85件</td> </tr> <tr> <td>小児回診</td> <td>104件</td> <td>100件</td> <td>97件</td> </tr> </tbody> </table>								H30	R1	R2	ハイリスク妊婦等紹介	97件	52件	92件	母体搬送	17件	10件	19件	検査依頼	138件	73件	85件	小児回診	104件	100件	97件
	H30	R1	R2																								
ハイリスク妊婦等紹介	97件	52件	92件																								
母体搬送	17件	10件	19件																								
検査依頼	138件	73件	85件																								
小児回診	104件	100件	97件																								

<p>主な取組③</p>	<p>【事業名】 保育サービスの提供</p> <p>【事業概要】</p> <p>保護者の保育ニーズの多様化に対応した保育サービスの充実として、令和元年度にスタートした幼児教育・保育の無償化の取組に加え、市独自で第2・3子の保育料軽減により多子世帯の経済的負担軽減を図った。また、病児・病後児保育事業については、平成19年度に開設した上田病院病児保育センターに加え、令和元年度には新たに丸子中央病院病児保育センターを開設、子育て世帯の子育てや就労の支援の充実を図った。</p> <p>【年度別実績】 (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="325 517 1452 943"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1号認定3～5歳:教育</td> <td>1,258</td> <td>1,156</td> <td>1,155</td> <td>1,159</td> <td>1,141</td> <td>1,095</td> </tr> <tr> <td>2号認定3～5歳:保育</td> <td>2,694</td> <td>2,737</td> <td>2,675</td> <td>2,599</td> <td>2,515</td> <td>2,427</td> </tr> <tr> <td>3号認定0～2歳</td> <td>1,271</td> <td>1,337</td> <td>1,362</td> <td>1,392</td> <td>1,340</td> <td>1,296</td> </tr> <tr> <td>延長・休日保育</td> <td>30,224</td> <td>31,415</td> <td>29,823</td> <td>29,045</td> <td>29,372</td> <td>25,077</td> </tr> <tr> <td>一時預かり保育:幼稚園</td> <td>41,422</td> <td>45,589</td> <td>35,806</td> <td>40,038</td> <td>41,847</td> <td>40,991</td> </tr> <tr> <td>一時預かり保育:幼稚園以外</td> <td>7,335</td> <td>6,868</td> <td>6,541</td> <td>6,581</td> <td>6,168</td> <td>5,905</td> </tr> <tr> <td>病児病後児施設利用者</td> <td>502</td> <td>567</td> <td>622</td> <td>512</td> <td>584</td> <td>441</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	R2	1号認定3～5歳:教育	1,258	1,156	1,155	1,159	1,141	1,095	2号認定3～5歳:保育	2,694	2,737	2,675	2,599	2,515	2,427	3号認定0～2歳	1,271	1,337	1,362	1,392	1,340	1,296	延長・休日保育	30,224	31,415	29,823	29,045	29,372	25,077	一時預かり保育:幼稚園	41,422	45,589	35,806	40,038	41,847	40,991	一時預かり保育:幼稚園以外	7,335	6,868	6,541	6,581	6,168	5,905	病児病後児施設利用者	502	567	622	512	584	441
	H27	H28	H29	H30	R1	R2																																																			
1号認定3～5歳:教育	1,258	1,156	1,155	1,159	1,141	1,095																																																			
2号認定3～5歳:保育	2,694	2,737	2,675	2,599	2,515	2,427																																																			
3号認定0～2歳	1,271	1,337	1,362	1,392	1,340	1,296																																																			
延長・休日保育	30,224	31,415	29,823	29,045	29,372	25,077																																																			
一時預かり保育:幼稚園	41,422	45,589	35,806	40,038	41,847	40,991																																																			
一時預かり保育:幼稚園以外	7,335	6,868	6,541	6,581	6,168	5,905																																																			
病児病後児施設利用者	502	567	622	512	584	441																																																			
<p>主な取組④</p>	<p>【事業名】 子ども家庭総合支援拠点</p> <p>【事業概要】</p> <p>子ども及び妊産婦の福祉に関する支援拠点としてR2に設置。専門職を配置し、児童虐待や多様化する子育てに関する相談へ対応するとともに関係機関と連携し、包括的・継続的な支援等を実施</p>																																																								
<p>主な取組⑤</p>	<p>【事業名】 地域子育て支援拠点事業</p> <p>【事業概要】</p> <p>子育て親子が自由に遊ぶことができ、保護者の相互交流、相談、講座も行う子育て支援センターと子育てひろば（市内13か所）を開所</p> <p>【年度別実績】 子育て支援センター・ひろば利用者</p> <table border="1" data-bbox="325 1509 1441 1621"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94,135人</td> <td>88,496人</td> <td>89,447人</td> <td>88,680人</td> <td>76,107人</td> <td>48,170人</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	H30	R1	R2	94,135人	88,496人	89,447人	88,680人	76,107人	48,170人																																												
H27	H28	H29	H30	R1	R2																																																				
94,135人	88,496人	89,447人	88,680人	76,107人	48,170人																																																				
<p>主な取組⑥</p>	<p>【事業名】 実費徴収に係る補足給付事業</p> <p>【事業概要】</p> <p>新制度に移行していない私立幼稚園において、保護者から給食費を徴収する場合、年収360万円未満相当の世帯及び第3子以降の子どもを補足給付の対象として、保育園等と同様に副食費の支援を実施</p> <p>【事業実績（支援人数）】</p> <p>R1:92人、R2:83人</p>																																																								

施策名	<b>2-③ 未来に繋がる特色ある教育の推進</b>							
基本方向	地域の教育力を生かす取組の充実や大学等との連携による新たな教育システムづくりに挑戦し、子どもたちの未来に繋がる教育環境を創ります。							
種別 種別 種別 種別 種別 種別 種別 種別	特色ある学校教育の取組についての市民満足度 (市民アンケート調査)			当初値 (%)	20.5 (H26)	目標値 (%)	30.0 (R7)	
	実績値 (%)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
		-	-	-	-	23.1	-	<b>B</b>
	地域に開かれた学校づくりに対する市民満足度 (市民アンケート調査)			当初値 (%)	32.2 (H26)	目標値 (%)	50.0 (R7)	
	実績値 (%)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
		-	-	-	-	34.8	-	<b>B</b>
	施策評価	<b>A</b>	評価根拠/ 現状分析	<p>サントミュージゼの様々なアウトリーチプログラムは、市民や子ども達が文化芸術を身近に感じられる機会を数多く提供。</p> <p>小中学校では、学力向上のため大型モニターやタブレットパソコン等の ICT 機器整備を進めたほか、「信州型コミュニティスクール」の設置により、地域の方がクラブ活動や地域学習等に積極的に参加協力する「地域とともにある学校づくり」の取組が進展した。</p> <p>長野大学の公立化を機に中心市街地に開設したまちなかキャンパスうえだでは、市内5大学等による市民向け講座数、利用者数ともにコロナ禍前まで増加傾向にあり、まちなかのにぎわい創出にも寄与した。一方で、幼保小中高大（特に高大）連携や、長野大学の公立化後のあり方（魅力ある大学）検討が進んでいない点が課題。</p> <p>アンケート調査未実施のため指標の実績値は得られていないが、参考データとして、市教育委員会で策定している「上田市教育支援プラン」の検証において、キャリア教育出前講座登録事業所数や、プロスポーツ選手による将来の夢について考える授業数が増加するなど、特色ある教育の取組が進んでいる。また、地域に開かれた学校づくりにつながる学校ボランティア数が増えてきており、「地域の行事に参加している児童生徒」、「社会のために何をすべきか考えたことがある児童生徒」の割合も向上している点を踏まえ、A評価とする。</p>				
	今後の取組方針			<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きサントミュージゼの多様なプログラムを通じて参加・体験機会の増進を図り、子どもたちの創造力・創作意欲を育む事業を実施していく。</li> <li>小中学校の ICT 環境整備を進めるとともに、学力向上のための活用方法を検討する。</li> <li>実績のある幼保小中間の連携に加え、長野大学を核として各高等教育機関の持つ専門性を校種間で活かす取組や、共通テーマを設けて相互に学び合える環境の構築を図る。</li> </ul>				

主な取組①	<p>【事業名】サントミュージゼの育成・アウトリーチ事業</p> <p>【事業概要及び実績】</p> <p>演劇・クラシックコンサート等の学校でのアウトリーチ（出張）公演、公民館でのコンサート、小学校での芸術鑑賞事業、美術作家・学芸員等による特別授業、子どもアトリエでの幼稚園・保育園・小学校受け入れ、体験講座、連続講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生が創る「実験的演劇工房」（H26～）</li> <li>市内各高校演劇班とプロの演出家による短期演劇制作・公演</li> <li>・芸術家ふれあい事業（H26～）</li> <li>小学校に出向きクラスコンサートを実施（市内全小学校5年生対象）</li> <li>地域ふれあいコンサート（9公民館）</li> <li>・小学校の芸術鑑賞事業</li> <li>劇団四季「こころの劇場」（H27～R1）</li> <li>ニッセイ名作シリーズ（R1・2は中止）</li> <li>・アウトリーチ事業（実施校数及び回数）</li> </ul>																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンサー等による特別授業</td> <td>—</td> <td>4校 6回</td> <td>2校 2回</td> <td>3校 6回</td> <td>5校 9回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>美術作家・学芸員等による特別授業</td> <td>2校 3回</td> <td>6校 8回</td> <td>2校 2回</td> <td>6校 7回</td> <td>2校 6回</td> <td>7校 13回</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	R2	ダンサー等による特別授業	—	4校 6回	2校 2回	3校 6回	5校 9回	—	美術作家・学芸員等による特別授業	2校 3回	6校 8回	2校 2回	6校 7回	2校 6回	7校 13回
		H27	H28	H29	H30	R1	R2															
	ダンサー等による特別授業	—	4校 6回	2校 2回	3校 6回	5校 9回	—															
	美術作家・学芸員等による特別授業	2校 3回	6校 8回	2校 2回	6校 7回	2校 6回	7校 13回															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもアトリエ事業（幼稚園、保育園、小学校受け入れ参加者）</li> </ul>																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>289人</td> <td>450人</td> <td>768人</td> <td>1,171人</td> <td>1,080人</td> <td>605人</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	H30	R1	R2	289人	450人	768人	1,171人	1,080人	605人									
	H27	H28	H29	H30	R1	R2																
	289人	450人	768人	1,171人	1,080人	605人																
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験講座（えのぐであそぼう、アトリエでつくろう等）及び連続講座（子どもは天才講座・夏休み美術教室等）参加者</li> </ul>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,837人</td> <td>2,729人</td> <td>2,998人</td> <td>2,353人</td> <td>2,178人</td> <td>743人</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	H30	R1	R2	2,837人	2,729人	2,998人	2,353人	2,178人	743人										
H27	H28	H29	H30	R1	R2																	
2,837人	2,729人	2,998人	2,353人	2,178人	743人																	
<p>【事業名】小中学校のICT機器導入</p> <p>【事業概要等】</p> <p>小中学校の普通教室に大型モニター、小学校の普通教室に教材提示装置を設置、デジタル教科書や個人の作品などを画面に写し、授業への興味や関心・集中力を高め、話し合い活動にも活用できアクティブラーニングの実践や学力向上を推進する。特別支援教室へのタブレットパソコン整備により児童生徒へ個々の対応が可能となり、学習意欲や理解度向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教室へタブレットパソコンを整備（117台）</li> <li>・小中学校の普通教室に大型モニター、小学校の普通教室に教材提示装置を整備（大型モニター258台、指導用デジタル教科書32個、教材提示装置60台）</li> </ul>																						
主な取組②																						

<p>主な取組③</p>	<p>【事業名】信州型コミュニティスクール</p> <p>【事業概要等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上田市では平成 28 年度末に全ての小中学校での設置が完了。多くの小中学校のクラブ活動や地域学習等でボランティアが講師等として参加・協力</li> <li>・学校教育課、生涯学習・文化財課、公民館職員で構成する「学校支援プロジェクト会議」を立ち上げ、学校支援ボランティア募集リーフレット作成やボランティアコーディネーター等のスキルアップ研修会（R1:2回、R2:3回）や交流会（R1:1回）を実施</li> <li>・平成 29 年度よりボランティア活動保険に加入(R1:1,570人、R2:1,265人)</li> </ul>															
<p>主な取組④</p>	<p>【事業名】まちなかキャンパス運営事業</p> <p>【事業概要】</p> <p>平成 28 年 7 月に市内中心市街地の空き店舗を活用した「まちなかキャンパスうえだ」を開設、事業運営を公立大学法人長野大学に委託。ここでは市内 5 大学等が連携し、学生が商店街の課題解決に取り組むゼミや、社会人等を対象とした大学による市民講座の開催、大学の情報発信など、まちなかににぎわいを創出する事業を実施。利用者数は増加傾向で推移している。</p> <p>【事業内容と年度別実績】 ※R2 年度は講座実施見合わせ</p> <table border="1" data-bbox="325 896 1452 1041"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民向け講座</td> <td>16 講座</td> <td>23 講座</td> <td>20 講座</td> <td>25 講座</td> </tr> <tr> <td>利用者総数</td> <td>3,300 人</td> <td>5,056 人</td> <td>4,405 人</td> <td>7,192 人</td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	R1	市民向け講座	16 講座	23 講座	20 講座	25 講座	利用者総数	3,300 人	5,056 人	4,405 人	7,192 人
	H28	H29	H30	R1												
市民向け講座	16 講座	23 講座	20 講座	25 講座												
利用者総数	3,300 人	5,056 人	4,405 人	7,192 人												

戦略名	<b>3.訪れたい・住みたいいうえだ戦略</b>				戦略評価	<b>A</b>	
基本目標	<p>【人口の社会増を伸ばす】</p> <p>上田の暮らしや観光など様々な魅力をトータルで積極的に発信し、交流人口を拡大するとともに、移住相談から定住に繋げるきめ細かい受け入れ体制を構築し、若者からアクティブシニアまで幅広く呼び込み社会増を伸ばします。</p>						
<b>◆数値目標</b>							
社会移動（転入者数－転出者数）				当初値	282	目標値	160
出典：住民基本台帳に基づく人口異動数				(人)	(H26)	(人)	(R2)
実績値 (人)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
	322	542	414	599	△68	△142	<b>B</b>
<b>◆戦略の評価（総括）</b>							
<p>・社会移動、観光地延べ利用者数ともに大河ドラマ放送に伴い大幅に増加したもののその後は減少に転じ、東日本台風や新型コロナウイルス感染症拡大の影響により激減している。また外国人観光客数も、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを見据えた国の施策強化の中で、市としても、（一社）信州上田観光協会と連携したインバウンド事業の推進により令和元年度までは増加傾向にあったが、令和2年度は感染症の影響が大きい。</p> <p>・一方では、令和2年度に認定された日本遺産を活用した観光振興策を展開し、首都圏、アジア圏等をターゲットにしたPRも進めることができたことから、ポストコロナを見据えた、インバウンドも含めた観光需要の高まりを見込んでいる。</p> <p>・また、移住相談件数及び空き家バンクの成約件数ともに概ね増加傾向にあり、行政支援による移住者数は県内でもトップクラスとなっているほか、UIJ ターン就職支援事業における相談件数も同様に増加傾向である。</p> <p>・併せて、観光だけにとどまらない上田市の魅力、イメージを効果的・戦略的に発信することを目的として、首都圏のメディア発信等を活用した「上田市シティプロモーション事業」を展開し、さいたま市を中心とする東日本連携への参画などに繋げている。</p> <p>・数値目標や施策のKPIについては目標を達成していないものもあるが、災害や感染症などの不可抗力によるものが大きいこと、また各種の取組については継続してきており、成果が大きい事業もあることから、総合的な評価をAとする。</p>							

施策名	<b>3-① 地域資源を生かした知名度アップと交流促進</b>							
基本方向	おもてなしで迎える観光の振興によって交流人口を拡大し、本市を何度も訪れていただくファンづくりと知名度アップを図ります。							
重要業績評価指標 KPI	観光地延べ利用者数 出展：長野県観光地利用者統計				当初値 (万人)	475 (H26)	目標値 (万人)	505 (R2)
	実績値 (万人)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
		545	721	504	466	448	205	<b>B</b>
	外国人宿泊者数 出典：長野県観光地利用者統計				当初値 (人)	6,000 (H26)	目標値 (人)	20,000 (R2)
	実績値 (人)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
		8,048	8,227	12,303	14,932	16,190	-	<b>B</b>
	観光消費額 出典：長野県観光地利用者統計				当初値 (億円)	131 (H26)	目標値 (億円)	140 (R2)
	実績値 (億円)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
		121	150	113	128	102	41	<b>B</b>
	施策評価	<b>B</b>	評価根拠/ 現状分析		<p>観光地延べ利用者数は「真田丸」放送に伴い大幅に増加したものの放送年の平成 28 年度をピークに減少に転じ、令和元年度の東日本台風によるさらなる減少に加え、令和 2 年度には新型コロナウイルス感染症拡大の影響により激減している。</p> <p>また外国人観光客数についても、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを見据えた国の施策強化の中で、市としても、(一社)信州上田観光協会と連携したインバウンド事業の推進により令和元年度までは増加傾向にあったが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により激減していることから、B 評価とする。</p>			
今後の 取組方針	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による大幅な観光需要の低迷は、本市の観光振興に大きな打撃を与えているが、ワクチン接種も開始されるなど明るい兆しも見えはじめており、収束後を見据え、(一社)信州上田観光協会をはじめ観光関連団体や民間事業者と一層の連携を図り官民一体となって、本市が有する様々な観光資源を有効的に活用するなかで滞在時間を延長し、また観光消費額を増額させることで「稼げる観光づくり」への転換を着実に推進する。</p> <p>・「真田氏」をはじめとする本市の観光資源を活かし、国内外からの誘客を促進するとともに、民間事業者が「稼げる観光地づくり」となるための、今後 10 年を見据えた観光行政の戦略と具体的な施策を盛り込んだ基本計画を策定する。</p>							
主な取組①	<p>【事業名】観光資源等を連携させ「稼げる観光地づくり」を推進するための体制強化</p> <p>【事業概要等】</p> <p>取組の中心役割を担う(一社)信州上田観光協会の体制強化として選任事務局長の配置(R1.4～)、国外観光客誘客に向け観光団体や民間事業者と連携した専門部会の設置</p>							

<p>主な取組②</p>	<p>【事業名】 真田街道推進機構連携事業、北陸新幹線停車駅都市観光推進会議連携事業</p> <p>【事業概要等】</p> <p>真田氏ゆかりの自治体との広域観光連携推進、北陸新幹線沿線地域との連携による新たな広域観光ルート形成促進（PR ブース出展、SNS を活用した PR 等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真田街道推進機構 連携事業</li> <li>R1・2:お城 EXPO（横浜）に PR ブース出展</li> <li>・北陸新幹線停車駅都市観光推進会議連携事業</li> <li>R1:台湾・香港をターゲットに観光パンフレット製作や SNS を活用した PR を実施</li> <li>R2:関係自治体を巡るモデルコースを造成し SNS を活用した情報発信を実施</li> </ul>
<p>主な取組③</p>	<p>【事業名】 外国人観光客の誘客促進に向けた観光情報の充実と観光プロモーション</p> <p>【事業概要等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光情報の充実</li> <li>R1:上田城跡公園の多言語観光パンフレット(英・簡・繁・タイ語)製作</li> <li>R2:インバウンド総合パンフレット製作（英・簡語）</li> <li>・（一社）信州上田観光協会と連携した海外観光プロモーション事業の実施</li> <li>R1:台湾台北旅行博、タイ・バンコク旅行博、信州 PR キャンペーン in カナダ、台湾・タイメディア招聘、フランス観光開発機構主催フランス大使館 VIP パーティー出展</li> <li>・インバウンド研修会等実施(R2.2・4・7・9月、R3.1月)</li> </ul>
<p>主な取組④</p>	<p>【事業名】 フィルムツーリズム、スポーツツーリズムによる滞在交流型観光地推進</p> <p>【事業概要等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（一社）信州上田観光協会と連携したフィルムツーリズムの推進</li> <li>ロケ支援の実施、市内ロケ地を紹介したロケ地マップを製作し観光客の周遊促進</li> <li>アニメ映画「サマーウォーズ」公開 10 周年（R1 年度）記念事業実施 （デジタルスタンプラリー 参加者 9,967 通、ラッピング電車:R1.6～8月）</li> <li>・菅平高原を活用したスポーツツーリズムの推進</li> <li>スキー場を使用した新たな誘客イベントとして、夜のゲレンデを駆け登るランニングイベント「菅平ナイトスノーラン」開催（R3.3月）、平成 20 年度から始まった「スカイライントレイル菅平」の継続実施</li> </ul>
<p>主な取組⑤</p>	<p>【事業名】 日本遺産を活用した観光振興及び地域活性化の推進</p> <p>【事業概要等】</p> <p>令和 2 年 6 月に認定された日本遺産を活用した観光振興や地域の活性化に向け、人材育成、普及啓発、及び情報発信媒体等を活用し市内外に向け戦略的・効果的に情報発信を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社・市内民間団体等と連携した人材育成事業の取組として、市内外からの観光客の受入体制整備に向け、日本遺産に関するガイド養成講座を実施</li> <li>・日本遺産に認定されたストーリーや構成文化財群の PR、普及啓発に向けた取組とし</li> </ul>

	<p>て、シンポジウム、構成文化財群スタンプラリー、市民向けバスツアー、絵本・かるた制作、自治会や住民団体・小中学校向けの出前講座を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種メディアを複合的に活用した情報発信事業の取組として、首都圏、アジア圏等をターゲットにプロモーションビデオを制作、テレビを活用した継続的な番組放送とともに首都圏向け情報誌への特集記事を掲載</li> </ul>
主な取組⑥	<p>【事業名】ご当地グルメ、郷土料理、季節料理、特産品、農商工連携による土産品開発など「食」による観光振興促進</p> <p>【事業概要等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R2:発酵文化を活かした観光誘客に向け日本酒定期便の商品化（1件）、別所温泉への誘客に向けた商品開発（2件）</li> </ul>
主な取組⑦	<p>【事業名】関西・北陸圏への観光宣伝キャンペーン促進</p> <p>【事業概要等】</p> <p>東日本連携「まるまるひがしにほん」等を活用した情報発信、金沢市、上越市と連携した関西圏、北陸圏などでの観光宣伝キャンペーン促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏からの誘客強化に向け「まるまるひがしにほん」を活用し誘客イベントやポスターやPRパンフレットの掲示・配架</li> <li>・金沢市と上越市との連携（金沢百万石祭り、上越謙信公祭、上田城千本桜まつり等での相互出展、誘客イベント、観光パンフレット、SNS等による誘客事業）</li> </ul>
主な取組⑧	<p>【事業名】シティプロモーションの推進</p> <p>【事業概要等】</p> <p>上田市の多様な魅力を様々な機会や情報発信媒体等を活用し、市内外に向け戦略的・効果的な情報発信を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏をターゲットエリアとして、テレビを活用した継続的な番組放送や特集番組の放送とともに、首都圏向け情報誌への特集記事掲載による魅力発信</li> <li>・シティプロモーション用 Web サイトの公開、Facebook ページの運用、YouTube へのPR 動画投稿による魅力発信の実施</li> <li>・地域コミュニティ FM を活用した市オリジナル番組放送による市外へ向けた魅力発信</li> <li>・市民による上田の魅力発信の取組として、市民リポーター制度（R1～）の運用を開始、市民目線の取材記事を Web サイトで配信</li> <li>・広域連携による情報発信事業の取組として、東日本連携・創生フォーラムへの参画（H29）を契機に、さいたま市との連携による農産物販売や観光情報 PR を実施</li> </ul>



施策名	<b>3-③ 移住・二地域居住を促進する施策の推進</b>							
基本方向	市内住宅物件の見学や生活を体験するメニュー、移住のインセンティブとなる施策を充実し、上田市への移住を促進します。							
重要政策 推進計画 評価	空き家バンク利用による移住・定住者数				当初値 (人)	-	目標値 (人)	25 (R2)
	実績値 (人)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
		11	10	25	14	16	20	<b>A</b>
	民間事業者による就業体験等への参加者数				当初値 (人)	-	目標値 (人)	25 (R2)
実績値 (人)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価	
	-	-	-	20	20	20	<b>B</b>	
施策評価	<b>A</b>	評価根拠/ 現状分析	行政支援による移住者数は県内でもトップクラスとなっている。(R2 行政サポートによる移住者 54 人)					
今後の 取組方針	引き続き移住相談の機会を確保し、移住先として上田市が候補となるよう、上田市の魅力や生活における情報をきめ細かに提供していく。							
主な取組①	【事業名】移住体験ツアーの開催（定住人口増加策推進事業）							
	【事業概要】 移住希望者を対象に、上田市の魅力や普段の生活風景などを体験・見学してもらうことで、移住後の生活のイメージを具体化してもらうツアーを開催							
	【年度別実績（ツアー実施状況）】※R2 は開催見合わせ							
	H28		H29		H30		R1	
	3回 12組 27人参加		3回 18組 36人参加		3回 13組 27人参加		3回 15組 31人参加	
主な取組②	【事業名】移住者交流会							
	【事業概要】 上田市への移住者が集い、移住後の生活等について情報交換を行うことで移住者同士のコミュニティの拡大を図るとともに、移住者からの意見を今後の移住施策の参考にする。							
	【年度別実績（交流会参加人数）】※年 1 回実施、R2 は実施せず							
	H30:24組 46人、R1:19組 32人							
主な取組③	【事業名】クラインガルテン整備事業							
	【事業概要等】 農業の担い手確保に加え、農村と都市住民の交流、ひいては都市部からの将来的な移住を見込み整備する滞在型市民農園							
	H22 年度に地元要望、H23 事業採択（県）、H30 工事開始、R2 工事完了（宿泊施設 9 棟、交流施設 1 棟）							
主な取組④ 【再掲 3-②】	【事業名】空き家バンク利用者引越・改修工事費用補助金（定住人口増加策推進事業費）							
	【事業概要】 空き家バンク物件の購入者の引越費用及び改修工事費用の 1/2 を補助（上限 20 万円）							
	【年度別実績（補助件数）】							
	H30:4件、R1:6件、R2:4件							

<p>主な取組⑤ 【再掲 3-②】</p>	<p>【事業名】空き家バンク運営安定化事業（定住人口増加策推進事業）</p> <p>【事業概要等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不動産業界関係機関へ業務の一部を委託し、専門相談員を配置（H30.10月～）</li> </ul>
<p>主な取組⑥ 【再掲 1-②】</p>	<p>【事業名】地域若者等定住就職支援事業</p> <p>【事業概要】</p> <p>様々な事情による未就職の地域若年求職者等の人材育成（基礎研修（OFF-JT）、職場体験研修（OJT）などの就職支援により、就労意識の醸成、スキルアップを図るとともに、職場研修を通じた雇用マッチングを推進し、地域における定住を促進</p> <p>【事業実績】</p> <p>R1:研修生 20 名、正規雇用者 14 名、 R2：研修生 20 名、正規雇用者 15 名</p>

戦略名	<b>4.ひと・地域の輝き戦略</b>				戦略評価	<b>B</b>	
基本目標	【安心して暮らし続けられる地域をつくる】 人口減少社会に対応する行政経営と住民自治を推進し、市民の健康と暮らしの安心を守り、子どもからお年寄りまで誰もが元気で暮らしやすいまちづくりを目指します。						
<b>◆数値目標</b>							
健康寿命【男性:1、女性:2】				当初値 (歳)	1: 78.92 2: 83.19 (H22)	目標値 (歳)	1: 延伸 2: 延伸 (R2)
実績値 (歳)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
	—	—	—	—	—	—	—
<b>◆戦略の評価（総括）</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康寿命は、平成 24 年厚生労働省科学研究班が開発した「健康寿命の算出プログラム」により、長野県が平成 27 年 4 月に「市町村別健康寿命」として公表しているが、その後は算出されていない。</li> <li>安心の医療サービスが受けられる環境づくりとして、広域連携による医療従事者の確保と救急医療体制充実の取組を継続する中、病院群輪番制病院をはじめとする地域の医療機関の協力により、圏域外への搬送割合が向上している。</li> <li>健康寿命を延伸する施策の推進として、特定健診の保健指導基準該当者のうち、高い割合で保健指導を実施しているものの、上田市はメタボリックシンドロームと血糖高値者が県平均より多い傾向であることから、糖尿病予備群の減少に向けては中・長期的な取組継続が必要である。</li> <li>公共交通の維持・確保を図る上では、利便性の向上等を通じた利用者の拡大が重要となる。運賃低減バス施策などに取り組んだ結果、利用者の増加に一定の効果は見られるものの、目標となる赤字解消に向けては更なる努力、工夫が必要な状況にある。</li> <li>地域主体のまちづくりを進める地域内分権推進としては、住民自治組織が設立想定数 12～15 組織に対して 9 地域 11 組織が設立完了したほか、新規の組織についても準備が整ってきている。</li> <li>ひとやまちをつなぐ広域連携促進としては、様々な取組により定住自立圏住民の一体感醸成に寄与するとともに移住定住に結び付いてきているが、広域都市間連携を含めて更なる広がりを生む事業展開が課題となっている。</li> <li>安心して暮らし続けられる地域づくりという幅広い視点で各種取組を着実に実施しているものの、医療や健康づくりに当たっての一部指標の向上、公共交通の中長期的な維持・確保に向けては一層の努力を要することを踏まえ、総合的な戦略評価を B とする。</li> </ul>							

施策名	<b>4-① 安心の医療サービスが受けられる環境づくり</b>							
基本方向	医療従事者の確保と救急医療体制の整備により、医療体制の充実を図ることで、安心して医療が受けられる環境づくりを進めます。							
地域医療体制に関する市民満足度	当初値			31.2	目標値		50.0	
	(%)			(H26)	(%)		(R7)	
	実績値 (%)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
		-	-	-	-	32.5	-	<b>B</b>
上小医療圏域外への救急搬送率	当初値			13.8	目標値		12.0	
	(%)			(H26)	(%)		(R2)	
	実績値 (%)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
		12.9	12.8	13.0	12.5	12.0	11.6	<b>A</b>
施策評価	<b>B</b>	評価根拠/ 現状分析	<p>「地域医療体制に対する市民満足度」はR1 調査時に 32.5%とH26 調査時と比較し若干向上（1.3%）しているが、目標値には届いていない。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で救急搬送収容人員は減少傾向ではあるが信州上田医療センター、病院群輪番制病院をはじめとする地域の医療機関の協力により、圏域外への搬送割合は目標値を上回ってきていることから、B 評価とする。</p>					
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師、看護師等の医療従事者の負担を減らすため、かかりつけ医の重要性を周知するとともに、通常診療時間内の受診を促し、夜間、深夜等の不要不急な受診を抑制するよう取り組む。</li> <li>・ 医療に関する情報（診察が受けられる医療機関名、診療科、時間等）を市民が得やすくするための環境作りに取り組む。</li> </ul>							
主な取組①	【事業名】病院群輪番制病院							
	【事業概要】 二次救急医療を担う病院群輪番制病院が、深夜等（午後6時～翌日午前8時）の初期救急医療を担っている。（年間約600回）							
	【年度別実績】							
	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
	568回	566回	577回	593回	583回	575回		
主な取組②	【事業名】休日救急医（在宅当番医）							
	【事業概要】 日曜日、祝日等に医療機関が当番で開院							
	【年度別実績（開院日数、医療機関数、合計開院回数）】							
	H27	開院73日、71医療機関、493回						
	H28	開院73日、73医療機関、491回						
	H29	開院74日、72医療機関、502回						
	H30	開院75日、70医療機関、503回						
R1	開院79日、70医療機関、524回							
R2	開院73日、69医療機関、471回							

<p>主な取組③</p>	<p>【事業名】 休日歯科救急センター</p> <p>【事業概要】 日曜日、祝日等に休日歯科救急センターで歯科診療を実施</p> <p>【年度別実績（開院日数）】 H27:74日、H28:75日、H29:75日、H30:77日、R1:78日、R2:75日</p>
<p>主な取組④</p>	<p>【事業名】 上田市内科・小児科初期救急センター</p> <p>【事業概要】 毎日（8/14～16、12/30～1/3を除く）、午後8～11時まで診療を実施</p> <p>【年度別実績（開院日数）】 ※R2は年末年始も診療を実施 H27:358日、H28:357日、H29:357日、H30:357日、R1:358日、R2:362日</p>
<p>主な取組⑤</p>	<p>【事業名】 地域医療体制を強化するための医師確保事業（上小医療圏地域医療再生計画の継続事業の一つ）</p> <p>【事業概要】 上田地域広域連合ふるさと基金を原資に、医師を派遣する大学に対する研究費や、信州上田医療センターに勤務する初期研修医の養成費（給与等）を助成</p> <p>【年度別実績（信州上田医療センター医師数・4月時点）】 H27:56人、H28:61人、H29:61人、H30:67人、H31:68人、R2:72人</p>

施策名	4-② 健康寿命を延伸する施策の推進							
基本方向	誰もがライフスタイルに合った幸福を感じ、いきいきと健康に暮らせるための健康づくり事業を推進し、健康寿命延伸を目指します。							
健康で長生きし豊かな人生が送れる環境が整っていると感じる市民の割合	当初値 (%)	37.1 (H26)	目標値 (%)	47.0 (R7)				
	実績値 (%)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
		-	-	-	-	38.9	-	<b>B</b>
	特定保健指導実施率	当初値 (%)	34.3 (H25)	目標値 (%)	82.0 (R2)			
実績値 (%)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価	
			76.6	73.4	75.8	-	<b>B</b>	
施策評価	<b>B</b>	評価根拠/現状分析	<p>健康で長生きし豊かな人生が送れる環境が整っていると感じる市民の割合は当初値:37.1%に比して、R1:38.9%となっており、1.8%上昇しているが、目標値には届いていない。</p> <p>特定健診の保健指導基準該当者の約8割の方に保健指導を実施しているが、上田市はメタボリックシンドロームと血糖高値者が県平均より多い傾向であることから、糖尿病予備群の減少に向けては、中・長期的な取組が必要である。</p>					
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関とも連携しながら、特定保健指導及び糖尿病性腎症重症化予防事業に取り組み、引き続き重症化予防に向けた対策に努めていく。</li> <li>・「健康幸せづくりプロジェクト事業」を中心とした施策を、庁内横断的に関係団体や民間との連携も含めてより一層推進していく。特に健康に関心を示さない市民層への様々な事業を展開し、特定健診や各種検診の受診率の向上、健康づくり実践者の増加などにつなげていく。</li> </ul>							
主な取組①	【事業名】健康づくりチャレンジポイント制度事業 (H27～)							
	【事業概要】 特定健診や各種検診、ウォーキング等健康づくり事業に参加した市民に、公共施設の無料利用や民間スポーツ施設での特典利用又は社会貢献(学校・保育園へのスポーツ関連用品寄附)と交換できるポイントを付与する健康無関心層へのアプローチ事業							
	【年度別実績(新規参加者数)】							
	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
	3,043人	975人	1,067人	1,052人	1,274人	638人		

主な取組②	<p>【事業名】 インターバル速歩実践講座事業 (H17～R1)</p> <p>【事業概要】 信州大学医学部と連携した中高年からの筋力・体力向上を目的とした科学的根拠に基づくウォーキング事業</p> <p>【年度別実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実践講座</td> <td>63人</td> <td>47人</td> <td>35人</td> <td>40人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>継続支援</td> <td>54人</td> <td>66人</td> <td>37人</td> <td>47人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>体験講習会</td> <td>137人</td> <td>79人</td> <td>65人</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	実践講座	63人	47人	35人	40人	—	継続支援	54人	66人	37人	47人	29人	体験講習会	137人	79人	65人	—	—
		H27	H28	H29	H30	R1																			
実践講座	63人	47人	35人	40人	—																				
継続支援	54人	66人	37人	47人	29人																				
体験講習会	137人	79人	65人	—	—																				
<p>【事業名】 ウォーキング講座「うえいく+ (プラス)」(R2～)</p> <p>【事業概要】 活動量計を用い強度を意識したウォーキングと筋力トレーニングの実施で効果的なウォーキング方法の実践を支援</p> <p>【事業実績 (参加者数)】 R2:延べ 111人</p>																									
主な取組③	<p>【事業名】 菅平スポーツフィジカルセラピー事業 (H29～R1)</p> <p>【事業概要】 スポーツ合宿の実績と経験を活かした菅平ならではの健康改善・促進メニュー (身体・運動測定メニュー) と、その結果をフィードバックして日常生活でも行えるトレーニングメニューを組み合わせ、定期的なリピート来訪を促進できる SPT プログラムを実施。核として春・秋の誘客を促進し、通年型のスポーツ観光地としての醸成を図る。</p> <p>【年度別実績 (利用者数)】 H29:1,892人、H30:2,702人、R1:2,218人</p>																								
主な取組④	<p>【事業名】 特定保健指導</p> <p>【事業概要】 特定健診の結果から生活習慣病のリスクが高く、生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して保健師、管理栄養士などによる保健指導を実施</p> <p>【年度別実績 (保健指導実施率)】 H27:73.6%、H28:81.8%、H29:76.6%、H30:73.4%、R1:75.8%</p>																								
主な取組⑤	<p>【事業名】 糖尿病性腎症重症化予防</p> <p>【事業概要】 糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関未受診者、受診中断者を医療に結びつけるとともに、糖尿病性腎症等で通院する患者のうち重症化するリスクの高い者に対して医療機関と連携して保健指導を実施</p>																								

<p>主な取組⑥</p>	<p>【事業名】子どもの健康づくり支援事業（H28～）</p> <p>【事業概要】</p> <p>子どもの身体活動量低下による筋力・運動能力等の低下を防ぎ、子どもの頃から体を動かす習慣づくりのための保育園運動プロジェクト「チャレンジキッズ」の実施</p> <p>【年度別実績（延べ指導園児数）】</p> <p>H28:864人、H29:930人、H30:1,464人、R1:2,268人、R2:2,364人</p>
<p>主な取組⑦</p>	<p>【事業名】あたま・からだ元気体操事業（H28～）</p> <p>【事業概要】</p> <p>市民の運動習慣及び高齢者の外出促進を目的として、6月から10月までの毎週土曜日、午前6時30分から午前7時まで、市内7会場で実施</p> <p>令和1年度から市内3会場で冬の部（11月から翌3月まで）を実施</p> <p>【年度別実績（延べ参加者数）】</p> <p>H28:4,133人、H29:6,141人、H30:6,624人、R1:7,922人、R2:3,994人</p>
<p>主な取組⑧</p>	<p>【事業名】健康づくり応援サイト・アプリ構築及び運営事業（H30～）</p> <p>【事業概要等】</p> <p>市民のだれもが手軽に健康情報を目にすることができるよう、健康情報の一元化を図り、市HPの該当ページを見やすく、使いやすいWebサイトにリニューアルする。特に、課題となっている働き盛り世代と若い世代の健康への関心を高めるため、普及率の高いスマホで利用効果の高い専用のアプリも同時に構築し、スマホによるウォーキングやSNSによる健康情報の拡散化を図る。</p> <p>H30:HPリニューアル、健康づくり応援アプリ「うえいく」の構築</p> <p>R1:「うえいく」の運用開始（ダウンロード数:R1:1,325件、R2:798件）</p>

<p>主な取組⑨</p>	<p>【事業名】鹿教湯温泉「健康の里」推進事業</p> <p>【事業概要等】</p> <p>国民保養温泉地として指定されている鹿教湯温泉を「健康の里」として位置づけ、地元観光協会や旅館組合等と連携し健康づくりのための取組を行うことにより、滞在型温泉地鹿教湯温泉の活性化と誘客の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境省、日本理学療法士協会、上田市の首長3者協定による「温泉を活かした健康づくり」による取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>「ものわすれドックと予防プログラム」の実施</li> <li>温泉地を活用した宿泊型介護予防・認知症予防事業</li> <li>参加者数:H28:6人、H29:8人</li> <li>「温泉を活かした新しい健康づくりフォーラム」の開催</li> <li>参加者数:H28:110人、H30:100人、R2:50人</li> </ul> </li> <li>・環境省による「チーム新・湯治」への参画 <ul style="list-style-type: none"> <li>現代のライフスタイルに合った温泉地での過ごし方を推進する「チーム新・湯治」へ加入し、温泉地の活性化に向け取り組んでいる。</li> </ul> </li> <li>・「鹿教湯温泉しあわせポール de アクティブウォーキングフェスタ」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>鹿教湯温泉を「ポールを使ったウォーキング」のメッカにすることを目的とし、住民及び湯治に訪れる観光客に健康増進の機会を提供</li> <li>参加者数 H27:126人、H28:81人、H29:170人、H30:163人、R1:154人</li> </ul> </li> <li>・水中ポールウォーキングの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>水中で体の負担が少なく心肺機能の強化につながる「水中ポールウォーキング」を取り入れた健康づくり</li> <li>参加者数 H29:113人、H30:146人、R1:113人、R2:96人</li> </ul> </li> </ul>
--------------	---

施策名	4-③ 暮らしや観光に資する交通システムの維持・拡充							
基本方向	市民が通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、また観光客にも利用しやすいよう、公共交通の活性化を図ります。							
種別 運賃低減事業 平曲高原線	道路や交通機関などの交通網が利用しやすいと感じる市民の割合				当初値 (%)	26.0 (H26)	目標値 (%)	35.0 (R7)
	実績値 (%)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
		-	-	-	-	24.5	-	<b>C</b>
	市内路線バスと別所線の輸送人員数				当初値 (万人)	241 (H26)	目標値 (万人)	250 (R2)
	実績値 (万人)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
253.3 (123.4)		256.3 (125.0)	250.7 (122.7)	250.9 (121.0)	227.7 (116.1)	142.3 (78.6)	<b>B</b> (←バス)	
(129.9)		(131.3)	(128.0)	(129.9)	(111.6)	(63.7)	(←別所線)	
施策評価	<b>B</b>	評価根拠/ 現状分析		<p>輸送人員は、運賃低減バス事業導入のほか、大河ドラマ真田丸放送といった増加要因により一時は目標値を達成したものの、令和元年東日本台風及び新型コロナの影響により、特に令和2年度は大幅な減少に転じている。</p> <p>他方、新型コロナ収束後を見据え、運賃低減事業や別所線安全対策の継続、また、キャッシュレス化推進に向けた検討が本格化するなど、利便性向上と利用者数の維持に資する取組が着実に進められていることからB評価とする。</p>				
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスは、運賃低減事業の実効性を検証し、今後の運行方針を定める。定住自立圏における連携拡大検討、ICT活用推進、及び地域公共交通計画の策定・施策実施などを通じて、利用者の利便性向上と事業者の生産性向上を図り、利用者数の維持に努める。</li> <li>・別所線は、令和元年東日本台風災害において、市が鉄道施設を公有化し復旧を果たしたが、災害支援措置補助も含め、事業者の経営改善を図りながら、真の復興に向けた取組を進める。</li> <li>・国・県協調補助、市単独補助による安全対策事業を推進し、安定・安全輸送に努めるとともに、ICT活用推進、日本遺産認定を契機とした取組、利用促進イベントを実施する。</li> </ul>							
主な取組①	<p>【事業名】運賃低減バス運行事業</p> <p>【事業概要等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内路線バスの上限を300円・500円とし、利用者の増加を図る。</li> <li>第1期:実証期間 H25.10~H28.9</li> <li>第2期:実証期間 H28.10~R01.9</li> <li>第3期:運行継続 R01.10~R04.9</li> <li>R1~2:千曲バス路線の廃止・休止、まちなか循環バス廃止</li> <li>R2:上田草津線新設、QRコード決済実証事業(菅平高原線)、コロナ支援金</li> </ul>							

<p>主な取組②</p>	<p>【事業名】 別所線安全対策事業</p> <p>【事業概要等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ R1～2:国・県協調補助、市単独補助による安全対策事業の実施</li> <li>・ R1:災害復旧、R2.1 鉄道施設の公有化</li> <li style="padding-left: 20px;">R2:災害復旧、R3.3.28 全線開通</li> <li>・ R2:日本遺産認定に伴う案内看板設置、コロナ支援金</li> </ul>
<p>主な取組③</p>	<p>【事業名】 公共交通キャッシュレス化推進事業</p> <p>【事業概要等】</p> <p>ICT 活用推進による上田市のスマートシティ化実現に向けて、鉄道・バス事業におけるキャッシュレス化を推進し、利用者の利便性向上と事業者の生産性向上を図る。</p> <p>R2.9:官民連携によるプロジェクト会議設置、R2.10 菅平高原線（バス）実証事業実施</p>

施策名	<b>4-④ 地域主体のまちづくりを進める地域内分権推進</b>							
基本方向	個性とまとまりを大切にしながら、地域自ら地域の抱える課題を解決できる仕組みづくりを進め、活発な地域コミュニティ活動を創出します。							
評価 地域内分権推進 評価	自治会や各種団体などで構成される住民自治組織の設立数（累計）				当初値 （組織）	-	目標値 （組織）	15 （R2）
	実績値 （組織）	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価
		-	4	9	10	11	11	<b>B</b>
	地域おこし協力隊員の定着率				当初値 （%）	-	目標値 （%）	100 （R2）
実績値 （%）	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価	
	-	-	-	20	50	100	<b>A</b>	
施策評価	<b>A</b>	評価根拠/ 現状分析		住民自治組織について、設立想定数 12～15 組織に対して 9 地域 11 組織が設立完了。コロナ禍もあり R2 中という目標は翌年度以降にずれ込んだが、未設立の中央地域のうち、北部地区については単独の設立を目指して地域経営会議（準備組織）の「北部地区部会」が立ち上がり、準備が整ってきている。また、地域担当職員や協働推進員の人数も増えてきている点を踏まえ、A 評価とする。				
今後の取組方針	未設立の地区（東部・中央・南部）について、地域経営会議において必要性の理解を得るほか設立の枠組み等を検討いただき、多様な主体の参画による住民自治組織の設立を支援しつつ、住民主体のまちづくり活動を後押ししていく。							
主な取組①	<b>【事業名】</b> 住民自治組織支援事業 <b>【事業概要】</b> 設立された住民自治組織の活動費として交付金を支出、平成 30 年度より開始 <b>【年度別事業実績（組織数と交付金額）】</b> H30:10 組織 39,000 千円、R1:11 組織 42,500 千円、R2:11 組織 55,488 千円							
主な取組②	<b>【事業名】</b> 地域担当職員 <b>【事業概要】</b> 住民自治組織の運営及び設立推進に対する人的支援として各地域に専属の職員を配置 <b>【年度別事業実績（配置人数推移）】</b> H26:3 名、H27:6 名、H28:7 名、H29:6 名、H30:8 名、R1・2:9 名							
主な取組③	<b>【事業名】</b> 協働推進員 <b>【事業概要】</b> 市民及び地域コミュニティとの協働によるまちづくりを積極的に推進するため、各課等において職員への啓発活動や課内調整、関係他課との連携、情報共有等の役割を担う職員を配置 平成 30 年度開始 <b>【年度別事業実績（配置人数推移）】</b> H30:81 名、R1:82 名、R2:83 名							

施策名	<b>4-⑤ まちとまち、人と人をつなぐ広域連携促進</b>														
基本方向	定住自立圏全体の住みやすさや魅力を生む取組を進めるとともに、共通課題への対応に向けた広域都市間連携を推進します。														
重厚な経費を要する課題	上田地域定住自立圏 取組事業数				当初値 (事業)	58 (H26)	目標値 (事業)	65 (R2)							
	実績値 (事業)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価							
		58	60	60	61	61	62	<b>B</b>							
	上田・松本都市連携による輸送人員目標				当初値 (人)	-	目標値 (人)	3,500 (R2)							
実績値 (人)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	評価								
	290	2,230	2,460	2,967	3,673	2,118	<b>A</b>								
施策評価	<b>B</b>	評価根拠/ 現状分析	主な取組①～③を中心に定住自立圏住民の一体感醸成に寄与するとともに移住定住に結び付けることができたが、広域都市間連携を含めて更なる広がりを生む事業展開が課題であることから、B評価とする。												
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、定住自立圏全体の魅力創出につながる協働事業の検討を進め、あわせて共通課題に対する広域都市間連携の検討を進める。</li> <li>上田－松本直行バス運行にあたっては、運用形態等の効率化に向けた検討を継続的に行い、経費削減や利用者数向上に向け宣伝 PR 等を図っていく。</li> </ul>														
主な取組① 【再掲 1-⑤】	<b>【事業名】</b> 民間用地、空き事務所情報一元化による企業誘致 <b>【事業概要】</b> 宅建協会、金融機関からの空き用地・事務所等情報を一元化し、県や企業からの照会に対して迅速な対応を実施（宅建協会からの情報を整理・ストックし、情報提供を実施）														
主な取組②	<b>【事業名】</b> 首都圏移住相談会等への合同参加による移住促進 <b>【事業概要】</b> 三大都市圏における相談会への参加、H30 からは構成市町村が連携し一泊二日での移住体験ツアーも実施（首都圏から 5 組程度参加） <b>【年度別事業実績（相談会実施回数）】</b> H27:6 回、H28:7 回、H29:12 回、H30:15 回、R1:11 回														
主な取組③	<b>【事業名】</b> 圏域内文化施設の相互利用、交流イベント開催等による芸術文化の振興 <b>【事業概要】</b> 上田市交流文化芸術センターでは、H29 年度から公民館など身近な空間でプロの演奏家との交流を行うことにより、地域住民が気軽にクラシック音楽に触れられる「地域ふれあいコンサート」を実施、今後も 5 町村でのコンサートを継続 <b>【年度別事業実績（実施町村と来場者数）】</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>H29</td> <td>長和町 30 名、青木村 70 名、立科町 80 名</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>坂城町 50 名、嬭恋村 95 名、長和町 60 名、青木村 59 名、立科町 41 名</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>坂城町 59 名、嬭恋村 75 名、青木村 52 名、立科町 85 名、長和町 39 名</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>青木村 60 名、長和町 24 名</td> </tr> </table>							H29	長和町 30 名、青木村 70 名、立科町 80 名	H30	坂城町 50 名、嬭恋村 95 名、長和町 60 名、青木村 59 名、立科町 41 名	R1	坂城町 59 名、嬭恋村 75 名、青木村 52 名、立科町 85 名、長和町 39 名	R2	青木村 60 名、長和町 24 名
H29	長和町 30 名、青木村 70 名、立科町 80 名														
H30	坂城町 50 名、嬭恋村 95 名、長和町 60 名、青木村 59 名、立科町 41 名														
R1	坂城町 59 名、嬭恋村 75 名、青木村 52 名、立科町 85 名、長和町 39 名														
R2	青木村 60 名、長和町 24 名														

<p>主な取組④</p>	<p>【事業名】圏域の高原を生かした高地トレーニングエリア構想の推進</p> <p>【事業概要】</p> <p>心肺機能を高める環境として高地トレーニングが重要視され、夏季シーズンにはトレーニング合宿が集中するため、東御市湯の丸高原陸上施設とサニアパークの間では、利用状況等情報共有し、相互の連携を図ってきている。今後は菅平高原アリーナの更なる有効活用も検討する。</p>																
<p>主な取組⑤</p>	<p>【事業名】圏域観光地連携による旅行商品造成や観光ガイドの養成を検討</p> <p>【事業概要】</p> <p>旅行商品造成は、信州上田観光協会「旅の観光タクシー」プランで、おもてなし武将隊と巡る周遊コースや、市内日本酒の蔵元を巡るコースなどを商品化してきている。</p> <p>周辺自治体との連携した取組みでは、千曲川ワインバレーの旅として、市内丸子地域のシャトー・メルシャン椀子ワイナリー、東御や小諸市内のワイナリーを組込んだコースを造成</p> <p>観光ガイドの養成は、上田観光ボランティアガイドの会やイングリッシュ・ガイド・グループ活動支援として、信州上田観光協会からガイド団体の活動事業費に対する補助事業を実施。あわせてガイド利用申込者との事務処理等や、研修会のサポートを実施。</p>																
<p>主な取組⑥</p> <p>【再掲 1-①】</p>	<p>【事業名】東信州広域連携事業推進</p> <p>【事業概要】</p> <p>東信州 10 市町村の広域連携により、次世代産業創出に向けた開発プロジェクト及び人材確保・育成、地域内連携促進や広報宣伝支援のほか、公的資金申請支援等、域内企業支援を幅広く推進</p> <p>【実施事業と年度別実績】</p> <table border="1" data-bbox="352 1274 1455 1671"> <tr> <td colspan="2">産産・産学連携支援事業</td> </tr> <tr> <td>マッチング会</td> <td>H28:2回、H29:4回、H30:6回、R1:6回、R2:4回</td> </tr> <tr> <td>技術講演会</td> <td>H28:2回、H29:2回、H30:9回、R1:9回、R2:9回</td> </tr> <tr> <td>先進企業見学会</td> <td>H28:2回、H29:2回、H30:2回、R1:2回、R2:1回</td> </tr> <tr> <td>技術展示会</td> <td>H28:2回、H29:2回、H30:4回、R1:3回、R2:0回</td> </tr> <tr> <td>人材確保事業</td> <td>H28:5回、H29:6回、H30:5回、R1:8回、R2:9回</td> </tr> <tr> <td>人材育成事業</td> <td>H28:8回、H29:26回、H30:26回、R1:20回、R2:4回</td> </tr> <tr> <td>トップセミナー</td> <td>H28:2回、H29:2回、H30:2回、R1:2回、R2:1回</td> </tr> </table>	産産・産学連携支援事業		マッチング会	H28:2回、H29:4回、H30:6回、R1:6回、R2:4回	技術講演会	H28:2回、H29:2回、H30:9回、R1:9回、R2:9回	先進企業見学会	H28:2回、H29:2回、H30:2回、R1:2回、R2:1回	技術展示会	H28:2回、H29:2回、H30:4回、R1:3回、R2:0回	人材確保事業	H28:5回、H29:6回、H30:5回、R1:8回、R2:9回	人材育成事業	H28:8回、H29:26回、H30:26回、R1:20回、R2:4回	トップセミナー	H28:2回、H29:2回、H30:2回、R1:2回、R2:1回
産産・産学連携支援事業																	
マッチング会	H28:2回、H29:4回、H30:6回、R1:6回、R2:4回																
技術講演会	H28:2回、H29:2回、H30:9回、R1:9回、R2:9回																
先進企業見学会	H28:2回、H29:2回、H30:2回、R1:2回、R2:1回																
技術展示会	H28:2回、H29:2回、H30:4回、R1:3回、R2:0回																
人材確保事業	H28:5回、H29:6回、H30:5回、R1:8回、R2:9回																
人材育成事業	H28:8回、H29:26回、H30:26回、R1:20回、R2:4回																
トップセミナー	H28:2回、H29:2回、H30:2回、R1:2回、R2:1回																

<p>主な取組⑦</p>	<p>【事業名】 上田-松本間シャトルバス運行により利便性向上と地域間交流を促進</p> <p>【事業概要】</p> <p>上田-松本直行バスは、長野市、松本市、上田市の三市トライアングル連携事業の一環として、二次交通を充実させるために、新幹線停車駅を有する上田市と、空港を有する松本市の相互の市における観光交流人口拡大を目的とし、平成 27 年度から運行を開始。松本市から上田地域へ直通できる唯一の公共交通機関で、トライアングル連携事業の周遊観光も実現可能にでき重要な事業として位置付ける。また、信州まつもと空港 FDA により、札幌・福岡・大阪等の大都市からの当市への観光客流入が期待でき、さらには空港の国際化を鑑み、インバウンド効果も十分に期待できる。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による国内外の観光需要は大幅に落ち込んでおり、直行バスの利用者も大幅に減少していることから、今後の社会情勢に合わせて、利用者数向上に向け宣伝 P R 等を実施するとともに運用形態等についての効率化に向けた検討も継続的に行う。</p> <p>【年度別事業実績】</p> <table border="1" data-bbox="325 887 1452 1102"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>運行日数(日)</th> <th>運行便数(便)</th> <th>乗車人数(人)</th> <th>人数/便</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 30 年度(通年)</td> <td>141</td> <td>564</td> <td>2,967</td> <td>5.26</td> </tr> <tr> <td>令和元年度 (通年)</td> <td>141</td> <td>562</td> <td>3,673</td> <td>6.54</td> </tr> <tr> <td>令和 2 年度 (通年)</td> <td>123</td> <td>492</td> <td>2,118</td> <td>4.30</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	運行日数(日)	運行便数(便)	乗車人数(人)	人数/便	平成 30 年度(通年)	141	564	2,967	5.26	令和元年度 (通年)	141	562	3,673	6.54	令和 2 年度 (通年)	123	492	2,118	4.30
年 度	運行日数(日)	運行便数(便)	乗車人数(人)	人数/便																	
平成 30 年度(通年)	141	564	2,967	5.26																	
令和元年度 (通年)	141	562	3,673	6.54																	
令和 2 年度 (通年)	123	492	2,118	4.30																	
<p>主な取組⑧ 【再掲 3-①】</p>	<p>【事業名】 真田街道推進機構連携事業、北陸新幹線停車駅都市観光推進会議連携事業</p> <p>【事業概要等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 真田街道推進機構連携事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>R1:お城 EXPO2019 (横浜) に PR ブース出展</li> <li>R2:お城 EXPO2020 (横浜) に PR ブース出展</li> </ul> </li> <li>・ 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議 連携事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>R1:台湾・香港をターゲットに観光パンフ製作や SNS を活用した観光 PR 事業を実施</li> <li>R2:関係自治体を巡るモデルコースを造成し SNS を活用した情報発信を実施</li> </ul> </li> </ul>																				
<p>主な取組⑨ 【再掲 3-①】</p>	<p>【事業名】 首都圏からの誘客強化に向け東日本連携「まるまるひがしにほん」や銀座 NAGANO を活用した情報発信、金沢市・上越市と連携した関西圏・北陸圏などでの観光宣伝キャンペーン促進</p> <p>【事業概要等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「まるまるひがしにほん」を活用し誘客イベントやポスター掲出、PR パンフ配架</li> <li>・ 金沢市と上越市との連携 (各市イベント(金沢百万石祭り、上越謙信公祭、上田城千本桜まつり等)での相互出展、誘客イベント、観光パンフレット、SNS 等による誘客事業)</li> </ul>																				